

会 告 目 次

IPSJ カレンダー	2
研究発表会開催通知	5
第 71 回マルチメディア通信と分散処理研究会	5
第 22 回情報メディア研究会	6
第 75 回グラフィクスと CAD 研究会	6
第 9 回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	7
第 104 回データベースシステム研究会	7
第 2 回数理モデル化と問題解決研究会	9
第 13 回グループウェア研究会	9
第 95 回コンピュータビジョン研究会	9
第 76 回設計自動化研究会	10
第 61 回ヒューマンインタフェース研究会	10
第 108 回自然言語処理研究会	11
第 46 回アルゴリズム研究会	12
第 37 回コンピュータと教育研究会	12
第 7 回音声言語情報処理研究会	13
第 11 回音楽情報科学研究会	14
第 38 回情報学基礎研究会	14
第 55 回情報システム研究会	15
平成 8 年度研究会等の新設提案について	18
「会員データ確認書」について	18
平成 7 年度シンポジウム等行事予定一覧	19
情報処理学会「行事」申込書	20
情報処理学会「連続セミナー 95」“集中から分散へ”“マスからパーソナルへ”参加者募集	21
情報処理学会第 51 回全国大会参加および論文集予約案内	22
第 51 回全国大会予約申込書	23
全国大会講演論文集継続購入者のご案内	24
Call for Papers-14th World Computer Congress	25
正会員新入会の特別キャンペーンの実施について	26
平成 7 年度会費・購読費の納入について (お願い)	26
海外からの送金方法について	27
有料会告について	28
支部だより	29
機関誌原稿執筆案内の改訂について	32
雑 報	32
教官募集	33
会議案内	36

IPSIJカレンダー

★：共催

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
プログラミング研究会	情報処理学会	6月 16日 (金)	当日のみ	36-5 6p	研
連続セミナー95 1バーカルコIBUTEING	工学院大	6月 16日 (金)	5月26日 (金) 全6回すべて	36-4 38p	事
システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	ホテルムーン ビーチ	6月 22日 (木) ～ 23日 (金)	当日のみ	36-5 6p	研
計算機アーキテクチャ研究会	東芝科学館	6月 23日 (金)	当日のみ	36-5 7p	研
第71回マルチメディア通信と分散処理研究会	奈良先端大	7月 13日 (木) ～ 14日 (金)	当日のみ	36-6 5p	研
第22回情報メディア研究会	富士通 (大分ソフトウェアラボラトリ)	7月 14日 (金)	当日のみ	36-6 6p	研
★ 第75回グラフィクスとCAD研究会	情報処理学会	7月 14日 (金)	当日のみ	36-6 6p	研
連続セミナー95 “情報システムの展望”	工学院大	7月 14日 (金)		36-6 21p	事
第2回数理解モデル化と問題解決研究会	群馬大	7月 19日 (火)	当日のみ	36-6 9p	研
第13回グループウェア研究会	機会振興会館	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 9p	研
第95回コンピュータビジョン研究会	北大	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 9p	研
第76回設計自動化研究会	群馬大	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 10p	研
第61回ヒューマンインタフェース研究会	学術情報センター	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 10p	研
★ 第108回自然言語処理研究会	福岡工大	7月 20日 (木) ～ 21日 (金)	当日のみ	36-6 11p	研
第46回アルゴリズム研究会	大阪電通大	7月 20日 (木) ～ 21日 (金)	当日のみ	36-6 12p	研
第7回音声言語情報処理研究会	かのや光楽苑	7月 20日 (木) ～ 22日 (土)	6月23日 (金)	36-6 13p	研
第37回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	7月 21日 (金)	当日のみ	36-6 12p	研
第11回音楽情報科学研究会	ヤマハリゾート 「ホテル合歓」	7月 21日 (金) ～ 22日 (土)		36-6 14p	研
MPEG-4とバーチャルリアリティ オブジェクト符号化シンポジウム	早大 (井深記念 ホール)	7月 26日 (水) ～ 27日 (木)	7月7日 (金)	36-5 11p	研
夏のプログラミングシンポジウム	NITFゆかり荘	7月 26日 (水) ～ 28日 (金)	5月26日 (金)	36-4 39p	事
第55回情報システム研究会	国立民族学博物館	7月 28日 (金)	7月15日 (土)	36-6 15p	研
第51回全国大会	富山大	9月 20日 (水) ～ 22日 (金)	8月11日 (金)	36-6 21p	事
連続セミナー95 エージェントシステムとその高度化	工学院大	9月 26日 (火)	5月26日 (金)	36-6 21p	事
連続セミナー95 エンタテイメントのための画像制作技術	工学院大	11月 29日 (水)	5月26日 (金)	36-6 21p	事

連続セミナー95 ネットワーク・コンピューティング	工学院大	平成 8年 1月 19日 (金)	5月26日 (金)	36-6 21p	事
連続セミナー95 生命科学とコンピュータ	工学院大	3月 22日 (金)	5月26日 (金)	36-6 21p	事

【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
★ Int'l Symposium on Algorithms and Computation'95(ISAAC'95)	ケアンズ (オーストラリア)	1995 年 12月 4日 (月) ～ 6日 (水)		36-5 8p	国
★ Asia-Pacific Software Engineering Conference'95 (APSEC'95)	オーストラリア	12月 5日 (火) ～ 8日 (金)		36-5 8p	国
★ 第2回自律分散システム国際会議 (ISADS 95)	フェニックスアリゾナ (米国)	1996 年 4月 25日 (火) ～ 27日 (木)	森 欣司(日立) Tel(044)966-9111	36-3 20p	国
★ 1996 Int'l Conference on Parallel and Distributed Systems (ICPADS'96)	ホテルストラータ新宿	6月 3日 (月) ～ 6日 (木)		36-5 8p	国
★ 人間とコンピュータの関わりあいに関する第6回国際会議 (HCI'95)	バシフィコ横浜	7月 9日 (日) ～ 14日 (金)	森 博彦 Tel.(03)3703-3111 ext.3420		国
計算機性能の測定ならびに解析に関する国際ワークショップ-PERMEAN'95	別府コンベンションセンター	8月 21日 (月) ～ 22日 (火)	Permian'95事務局 oemeab95@etl.go.jp	36-2 32p	研
★ ASP-DAC '95/CHDL '95/VLSI '95 (ACV '95)	日本コンベンションセンター	8月 29日 (火) 9月 1日 (金)	Secretary Tel.(03)5814-5823	35-5 27p	国
★ IFIP Congress 96-14th World Computer Congress	キャンベラ (オーストラリア)	9月 2日 (月) ～ 6日 (金)		36-5 8p	国
★ Int'l Conference on Advances in Production Management Systems (APMS'96)	京都国際会館	11月 4日 (月) ～ 6日 (水)	長谷英明 Tel.(03)753-5901		国
★ 第3回ネットワークとプロトコルに関する国際会議 (IEEE ICNP-95)	NECスーパータワー	11月 7日 (火) ～ 10日 (金)	滝沢 誠(電機大) taki@takilab.k.dendai.ac.jp	35-10 38p	国

【論文募集中】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
第51回全国大会	富山大学	平成 7年 9月 20日 (水) ～ 22日 (金)	6月5日 (月)	36-3 10p	事
「グラフィクスとCAD」シンポジウム	工学院大	10月 5日 (金) ～ 6日 (土)	5月31日 (水)	36-4 40p	研
自然言語処理の応用に関するシンポジウム	NTTコミュニケーション科学研究所	10月 19日 (木) ～ 20日 (金)	7月14日 (金)	36-5 12p	研
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	伊勢志摩国立公園	10月 25日 (水) ～ 27日 (金)	7月28日 (金)	36-5 13p	研
コンピュータシステム・シンポジウム	工学院大	11月 7日 (火) ～ 8日 (水)	7月31日 (月)	36-5 14p	研
Sixth Annual International Symposium on Algorithms and Computation(ISAAC95)	オーストラリア	12月 4日 (月) ～ 6日 (水)	5月12日 (金)	36-2 33p	研
自然言語処理環太平洋シンポジウム'95 (NLPRS '95)	KAIST Taejon, Korea	12月 4日 (月) ～ 6日 (水)	6月6日 (火)	36-3 9p	研

論文誌特集号 「マルチメディア通信と分散処理」			9月22日(金)	36-3 4p	編
第37回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小涌園	平成 8年 1月 9日(火) ～ 11日(木)	9月1日(金)	36-5 15p	事
マルチメディアジャパン 96	パシフィコ横浜	3月 18日(月) ～ 20日(水)	10月16日(月)	36-3 22p	国

【支 部】

行 事 名	会場名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担 当
平成7年度支部総会				36-4 42p	
東海支部 講演会	三重大	6月 28日(水)		36-6 29p	海
東海支部 第2回計算工学シンポジウム -“コンピュータによるデザイン”-	名古屋大 シンポジオン	6月 29日(木)		36-6 29p	海
四国支部 講演会	高知工業高等専 門学校	7月 10日(月)		36-6 31p	四
東海支部 講演会	中部電力株式会 社本店	7月 12日(水)		36-6 29p	海
東北支部 平成7年電気関係学会東北支部連合大会	岩手大	8月 24日(木) ～ 25日(金)	6月20日(火)	36-4 43p	東
★ 北陸支部 平成7年度電気関係学会北陸支部連合大会	福井大	9月 29日(金) ～ 30日(土)		36-6 30p	陸
★ 九州支部 電気関係学会九州支部第48回連合大会	九州芸術工科大	9月 29日(金) ～ 30日(土)	7月31日(月)	36-6 31p	九
★ 関西支部 平成7年電気関係学会関西支部連合大会	京都大	11月 11日(土) ～ 12日(日)	8月5日(土)	36-6 30p	西

- 注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
 注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。
 注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係,
 北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。
 各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

研究発表会開催通知

(平成7年7月1日～平成7年7月31日)

◆第71回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数：30件)

(主査：白鳥則郎，幹事：小花貞夫，柴田義孝，菅野政孝)

日 時 平成7年7月13日(木) 10:30～17:30
14日(金) 10:30～17:30

会 場 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

[生駒市高山町8916-5. JR：京都下車，近鉄京都線：高の原下車，タクシー(約15分)．または大阪難波方面より近鉄奈良線：学園前下車，タクシー(約15分)．Tel.(07437)2-5341(山口)]

議 題

7月13日(木)

[10:30～12:00] ●セッションI：応用/ルーティング

- (1) ニューラルネットワークの並列シミュレータについて 梶崎浩嗣，黒川恭一(防衛大)
(2) オブジェクト指向分散環境OZ++のデバッグ 吉田泰光(日本ユニシス)，濱崎陽一(電総研)
大西雅夫(東洋情報システム) 音川英之(シャープ)，塚本享治(電総研)
(3) マルチホームASのためのルーティングについて 上水流由香(NTT)

[13:00～15:00] ●セッションII-A：時間同期

- (4) モバイルコンピューティング環境における時間制約付きデータベースシステムの性能評価 和田雄次(三菱電機)，水野忠則(静岡大)
(5) 高帯域大規模分散環境における時間の共有イベント同期 岡村耕二，山口政博，荒木啓二郎(奈良先端大)
(6) 高帯域大規模分散環境における時間の共有グループ同期 山口政博，岡村耕二，荒木啓二郎(奈良先端大)
(7) ISDN網を用いた分散高精度時刻/周波数同期 山下高生，小野 諭(NTT)

[13:00～15:00] ●セッションII-B：負荷分散/ルーティング

- (8) ネットワーク応答特性プロトコルの提案とマルチメディア通信システムへの適用 太田 賢，坂下善彦，水野忠則(静岡大)
(9) NetNewsにおける利用状況を反映する記事配送モデルの提案 知念賢一，山口 英，山本平一(奈良先端大)
(10) WISHネットワークにおける動的トポロジの制御システムの構築 登坂章弘，西田佳史，村井 純(慶大)
(11) 通信量を削減する動的負荷分散方式 松井健一，松田亘弘，藤井章博，根元義章(東北大)

[15:30～17:30] ●セッションIII-A：認証

- (12) 移動ホスト認証を考慮した資源割り当て機構の提案 小林和真，山口 英，山本平一(奈良先端大)
(13) ATM用確認型データ転送プロトコルSSCOPの実装と評価 長谷川輝之，長谷川亨，加藤聰彦，鈴木健二(KDD)
(14) 逐次捕捉型モバイルコンピューティング環境におけるセキュリティ方式の提案 田窪昭夫(三菱電機)，水野忠則(静岡大)
(15) 分散システムにおけるユーザ認証システムの実現 杉山広幸，小幡雅典，田辺克弘(NTT)

[15:30～17:30] ●セッションIII-B：QoS/OS

- (16) ワークステーションクラスタにおけるSciddleライブラリの評価 齊藤哲哉，城 和貴(奈良先端大)
Hans Peter Luthi，Peter Arbenz(ETH, Switzerland)，福田 晃，荒木啓二郎(奈良先端大)
(17) 連続メディアを主体とするサービス実現のためのQoS機能 橋本浩二，勝本道哲，渡辺光輝，柴田義孝(東洋大)
(18) Hypermedia-on-Demandのためのプレゼンテーション機能 勝本道哲，橋本浩二，渡辺光輝，柴田義孝(東洋大)
(19) 非特化ネットワークとオペレーティングシステムによる動画転送の限界 山口信明，杉浦一徳，徳田英幸(慶大)

7月14日(金)

[10:30～12:00] ●セッションIV：理論

- (20) 分散ソフトウェアのタイミング検証 山根 智，翁 崇恩(島根大)
(21) 形式言語理論によるタイミング検証 山根 智，川平靖博(島根大)
(22) フォールトトレラントグループ通信 島 健司，滝沢 誠(電機大)

[13:00～15:00] ●セッションV：インターネット

- (23) 次世代インターネットプロトコル(IPv6)に関する一考察

- 南 政樹, 富永明宏 (慶大), 寺岡文男 (ソニー), 村井 純 (慶大)
(24)分散環境における TCP/IP の性能評価システムの提案 村山公保, 門林雄基, 山口 英, 山本平一 (奈良先端大)
(25)Internet 資源予約プロトコルの ATM 網中での設計について 後藤幸功, 平原正樹 (奈良先端大), 太田昌孝 (東工大)
(26)インタードメインルーティングプロトコル(IDRP)のためのポリシー記述言語 村田顕宏, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)

[15 : 30 ~ 17 : 30] ●セッション VI : 分散 DB

- (27)分散システムにおける複製管理機能を有する共同文書作成支援についての提案 宮西洋太郎 (三菱電機), 中村健二, 佐藤文明, 水野忠則 (静岡大)
(28)ネットワーク管理システムにおける分散オブジェクト管理 藤崎智宏, 蔭山克禎, 荒野高志 (NTT)
(29)ネットワーク上に分散する情報の共有について 阿部康一, 武田利浩, 丹野州宣 (山形大)
(30)移動データベース環境におけるセル指定ビューの維持手法 仲秋 朗, 劉 渤江, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)

◆第 22 回 情報メディア研究会

(発表件数 : 5 件)

(主査 : 田中 譲, 幹事 : 平山智史, 牧村信之, 森本英之)

日 時 平成 7 年 7 月 14 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00

会 場 富士通大分ソフトウェアラボラトリ (大分県ソフトパーク内)

[大分市東春日町 17-58. 大分空港からバス : JR 大分下車 (約 1 時間), タクシー (約 5 分). または空港からホバークラフト, 上陸後タクシー (約 15 分). Tel.(0975)34-8111]

議 題 小特集 : メディア・フィールド・ワーク

[10 : 00 ~ 12 : 00]

(1) 大分ハイパーネットワーク地域実験の試み

—大分県の取組みと目標, ハイパーネットワーク社会研究所の活動と今後の課題—

藤野幸嗣 (ハイパーネットワーク社会研究所)

(2) 高齢初心者パソコン通信利用現場をのぞく

吉田敦也 (京都工繊大)

[14 : 00 ~ 17 : 00]

(3) 「実篤」の立体像を「マルチメディア」で「見せる」

中村広幸 (情報環境研究所)

(4) デザイン教育におけるルールの「かたち」化

吉橋昭夫, 須永剛司 (多摩美大)

(5) うわさ : 最古のメディアの現在

池田香代子

*昼休みにソフトパークの見学会を予定しています。

*情報メディア研究会のメーリングリスト infomedia-ml@huec.hokudai.ac.jp が開設されます。本文に # guide とだけ 1 行書いたメールをお送りください。詳細案内を送ります。

◆第 75 回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数 : 6 件)

(主査 : 大野義夫, 幹事 : 小堀研一, 斉藤 剛, 福井一夫)

日 時 平成 7 年 7 月 14 日 (金) 13 : 00 ~ 17 : 10

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F. JR : 田町 (東口) 下車, 徒歩 7 分. または地下鉄 (浅草線, 三田線) : 三田下車, 徒歩 10 分. Tel.(03)5484-3535]

議 題

(1) 三次元頭部形状の三角パッチ表現に関する検討

上川伸彦, 加藤誠巳 (上智大)

(2) 3 次元 DCT によるボリウムデータの圧縮

森下広之, 大野義夫 (慶大)

(3) 省略の含まれる三面図からの 3 次元モデルの復元

田村雅之, 梅澤 顕, 狩野 均, 西原清一 (筑波大)

(4) プラント建設工程評価システムの開発

横田 毅, 荒木憲司, 高元政典, 野中久典, 吉田美樹 (日立)

(5) 飛翔体の軌跡表示システム「ショットビュー」—ゴルフボールの 3 次元位置の可視化—

山内結子 (NHK)

(6) 4 分木を用いたウェーブレット帯域分割画像のフラクタル圧縮

木村貴文, 篠原克幸, 淀川英司 (工学院大)

*テレビジョン学会 (マルチメディア情報処理研究会) と共催。

◆第9回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数：5件)

(主査：安田 浩，幹事：一之瀬進，児玉 明，村上仁己)

日 時 平成7年7月14日(木) 13：00～17：00

会 場 早稲田大学 理工学部 55号館 大会議室

[東京都新宿区大久保3-4-1. JR または地下鉄：高田馬場下車，徒歩10分. Tel.(03)3203-4141]

議 題

[13：00～16：15] ●MPEG 4

- (1) 挨拶 安田 浩 (NTT)
- (2) 透明度情報を領域表現に用いた動画画像符号化 角野真也，津田賢治郎，ブン チュンセン，柴藤 稔 (松下電器)
- (3) 領域ベース低ビットレート符合化方式 鈴木信也，茂木 健，藤村恒太 (三洋電機)
- (4) エッジ抽出に基づく画像の階層的表現 伊藤裕二 (テキサス・インスツルメンツ)
- (5) 輪郭適応ワーピング予測を用いたビデオ符号化方式 宮本義弘，横山 裕，太田 睦 (NEC)

[16：15～17：00] ●DAVIC 会合報告

(6) DAVIC 会合報告

DAVIC 推進委員会

*電子情報通信学会 (画像工学研究会)，IEEE 東京支部 (BTグループ) 協賛。

◆第104回 データベースシステム研究会

(発表件数：41件)

(主査：田中克己，幹事：石川 博，井上 潮，吉川正俊)

—マルチメディアデータベース不知火宣言—

日 時 平成7年7月18日(火) 9：30～14：45

19日(水) 9：30～16：00

20日(木) 9：30～12：15

会 場 八代ロイヤルホテル (A会場，B会場によるパラレルセッション)

[八代市本町2-1-5. 熊本駅よりJR (鹿児島本線)：八代下車 (約30分)，タクシー (約10分) (900円程度)。

Tel.(0965)34-1111]

議 題

7月18日(火)

[9：30～10：45] ●ファイル編成法 (A会場)

- (1) ビットスライス方式に基づく分割シグネチャファイル構成法の提案と評価 渡辺悟康，北川博之 (筑波大)
- (2) 集合シグネチャファイルを実装したオブジェクトマネージャの設計—システム構成と問合せ処理方式—
石川佳治 (奈良先端大)，北川博之 (筑波大)
- (3) ASN.1 データベースシステムにおけるインデックス機構の比較
原 隆浩，春本 要，塚本昌彦，西尾章治郎 (阪大)

[9：30～10：45] ●文書データベース (B会場)

- (4) 文書データベース管理システム Xebec における検索について 中津山恒，沼田賢一 (富士ゼロックス)
- (5) 文書データベース管理システム Xebec のユーザインタフェースについて
沼田賢一，奥村 洋，千葉和也 (富士ゼロックス)
- (6) 3次元自己組織化マップに基づく文書のブラウジングと検索 銭 晴，波多野賢治，田中克己 (神戸大)

[11：00～12：15] ●記憶システム (A会場)

- (7) Hot Mirroring を用いたディスクアレイの基本性能評価 茂木和彦，喜連川優 (東大)
- (8) ハイパーメディア型のネットワーク構造に基づく記憶システムの設計と実装
片山紀生，高須淳宏，安達 淳 (学情センター)
- (9) 衛星画像の格納を目的とした大規模階層ファイルシステムの設計
根本利弘，迫 和彦，喜連川優，高木幹雄 (東大)

[11：00～12：15] ●マルチメディアデータモデル (B会場)

- (10) マルチメディアデータベースサーバ INADA とその上のマルチメディアデータベースモデル
金子邦彦，進 英二，牧之内顕文 (九大)
- (11) OMEGA における時間的オブジェクトモデルとその実装法について 清光英成，増永良文 (情報大)
- (12) 画像オブジェクトの版管理モデル 川島 享，田幡 勝，金森吉成 (群馬大)，増永良文 (情報大)

[13：30～14：45] ●分散オブジェクト (A会場)

- (13) オブジェクト並列原理に基づく超並列メインメモリデータベース・システムとデータベースプログラミング言語

MAPPLE

今崎憲児, 小野 剛, 牧之内顕文 (九大)
横田治夫, 荒井竜一 (北陸先端大)

- (14) メッセージ通信に基づく並列トランザクション管理
(15) オブジェクトデータベースの経路存在制約とその応用

大本英徹 (京産大), 高松利行 (大和ハウス), 田中克己 (神戸大)

[13 : 30 ~ 14 : 45] ●マルチメディアデータの内容検索 (B会場)

- (16) 意味の数学モデルによる意味的画像探索方式とその学習機構

中村恭子 (お茶の水女子大), 金子昌史, 清木 康, 北川高嗣 (筑波大)

- (17) 対象世界のモデリングを用いた図形・画像データの内容検索 宝珍輝尚, 新海敏之, 都司達夫 (福井大)
(18) 内容に基づく映像 DB 検索のためのオブジェクト指向フレームワーク 元木誠, 佐伯剛幸 (NEC)

7月19日(水)

[9 : 30 ~ 10 : 45] ●モバイルデータベース (A会場)

- (19) 移動型データベースのためのビュー機構の設計および実装

白井博章, 仲 秋朗, 劉 渤海, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)

- (20) 移動分散データベースにおける質問処理

上林弥彦 (京大), 早瀬道芳 (岡山県立大)

[9 : 30 ~ 10 : 45] ●ビジュアルインタフェース (B会場)

- (21) ビジュアル・プロトタイピングのための製品仕様データベース

角谷和俊, 安武剛一, 田中裕彦, 今井良彦 (松下電器)

- (22) Kasuga/Script による GUI 自動レイアウト機能の実現について

白田由香利, 飯沢篤志 (リコー)

- (23) 実世界情報提供システム InfoGlass の提案

吉田忠城, 森下慎次, 種茂文之, 片岡良治 (NTT)

[11 : 00 ~ 12 : 15] ●データベース基礎 (A会場)

- (24) 制約関係を導入した時区間代数

天笠俊之, 田頭利規, 金森吉成 (群馬大), 増永良文 (情報大)

- (25) 非正格関数型言語におけるデータベース更新と遅延検索

市川哲彦 (お茶の水女子大)

- (26) 実体の再設計

三浦孝夫 (産能大)

[11 : 00 ~ 12 : 15] ●ハイパーメディア (B会場)

- (27) 映像散策のためのビデオハイパーモデルの提案

坂田哲夫, 木原原雄, 小島 明, 佐藤哲司 (NTT)

- (28) 出力レイアウト式 TFE の拡張

遠山元道, 軽部和幸, 指田英雄, 佐藤 圭, 実政宏幸, 杉本晋司, 瀬戸俊幸, 中川裕二 (慶大)

- (29) ハイパーメディアデータベースの段階的構造化と多重ビュー

上浦真樹 (神戸大), 森下淳也 (姫路獨協大), 上島紳一 (関西大), 大月一弘, 田中克己 (神戸大)

[13 : 30 ~ 16 : 00] ●パネルディスカッション: マルチメディアデータベース不知火宣言 (A, B会場)

7月20日(木)

[9 : 30 ~ 10 : 45] ●ビュー (A会場)

- (30) オブジェクト指向データベースにおける extent view サポートについて

桜井明美, 増永良文 (情報大)

- (31) ビュー機能を用いたデータベーススキーマの操作

村田美友紀, 掛下哲郎 (佐賀大)

- (32) 製造管理データベースにおける能動機構の利用とビュー提供機能

高田秀志, 島川博光, 浅野義智, 竹垣盛一 (三菱電機)

[9 : 30 ~ 10 : 45] ●ネットワークとデータベース (B会場)

- (33) ネットワーク上の仮想組織における Deputy オブジェクトの利用

木實新一, 上林弥彦 (京大)

- (34) データベースとインターネットアプリケーションの係連に関する試み

久保田和巳, 石川 博 (富士通研)

- (35) ネットワーク上の仮想データベースシステム

横田一正, 木實新一 (京大)

[11 : 00 ~ 12 : 15] ●トランザクション処理 (A会場)

- (36) 並行処理制御における2相施錠方式の改良

春原典彦, 芝井 豊, 宮崎収兄 (千葉工大)

- (37) 不変時刻印方式における集中型コミットメント制御の提案と検討

石森宣行, 小林真也 (金沢大)

- (38) 周期・非周期データを統合する実時間データサーバ

井戸謙治, 島川博光, 浅野義智, 竹垣盛一 (三菱電機)

[11 : 00 ~ 12 : 15] ●協調処理のためのデータベース (B会場)

- (39) 「人財」活用マルチメディア・データベースシステム

國友優子, 滝山真也, 花田光世, 武藤佳恭 (慶大)

- (40) 分散協調処理による異種問題解決系の統合利用

小西 修, 松浦春選 (高知大)

- (41) ワークフロー管理システム WorkFlowBase におけるワークフローデータモデル

國島文生 (奈良先端大), 上林弥彦 (京大)

*懇親会: 19日の研究会終了後(16:30~19:00)に行います。

*電子情報通信学会(データ工学研究会)と共催。ACM SIG MOD(日本支部)協賛。

◆第2回 数理モデル化と問題解決研究会

(発表件数：6件)

(主査：中森真理雄，幹事：白石洋一，伊達 博)

日 時 平成7年7月19日(水) 13:30～17:00

会 場 群馬大学 工学部 情報工学科 東棟 メディアルーム

[桐生市天神町1-5-1. JR(両毛線)：桐生(北口)下車，本町5丁目バス停(徒歩約10分)から東武バス(桐生天神町行または桐生女子高行)：群大前下車(約10分)。または東武桐生線：新桐生下車，駅前から東武バス(桐生天神町行または桐生女子高行)：群大前下車(約25分)。Tel.(0277)30-1854, 1855(白石)]

議 題

- (1) Tabu Searchによる無閉路有向グラフの最適系列分割問題と特性評価 加地太一(小樽商科大)
- (2) 回路網のキルヒホッフ法則に基づく定式化およびラプラス変換法による関数解法 益富文男(福岡工業短大)
- (3) s関数を要素とする行列式高速解法の開発 益富文男(福岡工業短大)
- (4) GAによるヒューリスティック探索の最適化—バス仕業ダイヤの作成— 仙石浩明, 吉原郁夫, 今川徹三(日立)
- (5) 幾何学的モデルの選択基準について 金谷健一(群馬大)
- (6) 電気系レイアウトDAにおける概略配線問題を対象とした超大規模整数計画問題について 平澤知久, 白石洋一(群馬大)

◆第13回 グループウェア研究会

(発表件数：10件)

(主査：松下 温，幹事：星 徹，宗森 純，山上俊彦)

日 時 平成7年7月20日(木) 9:20～17:10

会 場 機械振興会館 B3F 1号室

[東京都港区芝公園3-5-8. 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車。またはJR：浜松町下車，バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車。Tel.(03)3434-8211]

議 題

[9:20～12:00]

- (1) Coordination Process Model-based Design for Synchronous Group Task Support System 桑名栄二, 堀川桂太郎(NTT)
- (2) スケジュール情報の共有・再利用に着目した協調作業支援システム 安部田章, 松並 勝, 碓崎賢一(九工大)
- (3) 協調検索型ハイパーメディアのWWWによる実現 塩澤秀和, 西山晴彦, 松下 温(慶大)
- (4) 文章化支援機能をもつ発想支援グループウェア郡元DXの開発 丸田和輝, 宗森 純, 長澤庸二(鹿児島大)
- [13:00～17:10]
- (5) Virtual Communityの提案 松並 勝, 碓崎賢一(九工大)
- (6) 多人数チャットシステムにおける人物モデルのジェスチャー機能 古野文一, 松並 勝, 碓崎賢一(九工大)
- (7) カメラ・ロボットによる視線と指さしの代行 葛岡英明, 石母田玄, 西村有史(筑波大)
- (8) 臨場感通信における画面上の人体サイズ 黒須正明, 山寺 仁, 三村 到(日立)
- (9) 組織知識解析：ノウハウから組織知識へ 山上俊彦, 爰川知宏(NTT)
- (10) S^{n+1} を因子に分解して得られる解のグループウェア性 益富文男(福岡工業短大)

◆第95回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：9件)

(主査：松山隆司，幹事：久野義徳，谷口倫一郎，村瀬 洋)

日 時 平成7年7月20日(木) 9:30～17:10

会 場 北海道大学 工学部 A111教室

[札幌市北区北13条西8丁目. JR札幌駅より地下鉄(南北線)：北12条下車，北13条門より入る(徒歩5分)。Tel.(011)706-6503(川嶋)]

議 題

[9:30～11:50]

- (1) 野球ボールの追跡と到達点の予測 村井裕一, 番匠一雅, 山本和弥, 野田健一(拓殖大)
- (2) ステレオビジョンによる3次元物体の認識 角 保志, 富田文明(電総研)
- (3) ステレオ視による位置姿勢の変化する3次元物体の追跡 石山 豊(スタンレー電気), 角 保志, 富田文明(電総研)
- (4) アフィンスケールスペース解析に基づく画像の構造記述 守田 了, 田中 稔(山口大)

[13 : 20 ~ 17 : 10]

- (5) 特別講演：感覚代行研究から人工現実感技術へ 伊福部達 (北大)
- (6) 離散物体の単体ラベリングとその応用 剣持雪子, 井宮 淳, 市川 薫 (千葉大)
- (7) 特異画像の解析を基にした周期的動作の記述 鈴木貴彦, 吉野和芳, 川嶋稔夫, 青木由直 (北大)
- (8) カラー手袋を用いた手話認識手法 吉野和芳, 川嶋稔夫, 青木由直 (北大)
- (9) CVCV-WG 特別報告：コンピュータビジョンにおける技術評論と将来展望 (IV) - 正則化 (Regularization) - 天野 晃 (広島市立大)

◆第76回 設計自動化研究会

(発表件数：11件)

(主査：中村行宏, 幹事：小野寺秀俊, 長 光雄, 松田庸雄)

日 時 平成7年7月20日(木) 10 : 30 ~ 17 : 00

会 場 群馬大学 工学部 情報工学科 東棟 メディアルーム (所在地は前記参照)

議 題

[10 : 30 ~ 12 : 00]

- (1) 容量を制限した整数ビンパッキング問題の解法
横丸敏彦, 泉 知論, 高橋篤司 (東工大), 梶谷洋司 (東工大/北陸先端大)
- (2) 大規模回路の最小コスト分割のための分散遺伝的アルゴリズム
若林真一, 松田憲治, 岸本善久, 小出哲士, 吉田典可 (広島大)
- (3) Minimum Spanning Tree に基づいた配置改善手法
新田 泉, 澁谷利行, 河村 薫 (富士通研)

[13 : 00 ~ 17 : 00]

- (4) 既配線の押し退け可能性を考慮したゼネラルエリア配線手法
林 中也, 奥田亮輔, 中尾博臣, 寺井正幸, 佐藤興二 (三菱電機)
- (5) バッファ挿入を伴う等遅延クロックツリー生成アルゴリズム
福田浩之, 枝廣正人, 油井信康, 山崎博義, 石塚昭夫 (NEC)
- (6) 階層的レイアウト工程全自動化システムの試作
山内貴行, 玉柏和男 (シャープ)
- (7) アナログマスタースライスレイアウトシステム 上高原道夫, 永原 出, 篠崎圭一, 熊王尚子, 井上晴美 (ソニー)
- (8) 信号間相関を考慮した確率的消費電力見積方法
内野 琢 (東芝)
- (9) 拡張 HCP チャートを用いたハードウェア設計支援手法の提案
森田由美子, 塩見彰睦, 今井正治 (豊橋技科大)
- (10) ASIP 設計用コデザイン・ワークベンチ PEAS-III の提案
塩見彰睦, 今井正治, 片岡健二 (豊橋技科大)
- 青山義弘 (福井工業高専) 佐藤 淳 (鶴岡工業高専), 引地信之 (SRA)
- (11) PARTHENON を適用した大規模通信用 LSI の開発
東海林敏夫, 山下正秀, 中村行宏 (NTT)

◆第61回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数：9件)

(主査：竹林洋一, 幹事：来住伸子, 浜田 洋, 山本吉伸)

日 時 平成7年7月20日(木) 10 : 00 ~ 16 : 45

会 場 学術情報センター 別館会議室

[東京都文京区大塚 3-29-1. 地下鉄(丸ノ内線)：茗荷谷下車, 徒歩5分. Tel.(03)3942-6956]

議 題

[10 : 00 ~ 11 : 45]

●評価

司会：竹村治雄 (奈良先端大)

- (1) Prediction of Part of Speech Categories for Words in English Text Using Second Order Markov Model
Aksanul FARDHI (Hokkaido Univ.), Kenji ARAKI (Hokkai Gakuen Univ.)
Yoshikazu MIYANAGA, Koji TOCHINAI (Hokkaido Univ.)
- (2) 大きい目標の選択操作に対する Fitts の法則の適合性の評価
高田喜朗 (阪大), 梅木良太郎 (日立西部ソフトウェア), 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)
- (3) 実験環境と実使用環境における目標選択動作の比較
森 孝弘, 西田知博, 高田喜朗 (阪大)
梅木良太郎 (日立西部ソフトウェア), 齊藤明紀, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)

[13 : 00 ~ 14 : 45]

●認識と適応

司会：北原義典 (日立)

- (4) 手書きユーザインタフェースの評価を支援する環境の実現
二村 尚, 中島一彰, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- (5) ユーザによるレイアウトの適応的認識
五十嵐健夫, 松岡 聡 (東大), 増井俊之 (シャープ)
- (6) An Interface Toolkit with Dynamic Selectable Modality
川合史朗, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)

[15:00~16:45] ●利用者支援

司会：河野恭之（東芝）

(7) ユーザモデルの利用および対象システムの視覚化による学習支援

倉橋利幸, 西村俊和, 美濃導彦, 池田克夫（京大）

(8) 自然な数式ヒューマンインタフェースに関する研究

趙 燕結（久留米工大）, 桜井鉄也（筑波大）, 杉浦 洋, 鳥居達生（名大）

(9) 一次情報データベースの利用者インタフェースについて—電子図書館システムの経験から—

安達 淳, 橋爪宏達（学情センター）

*研究発表終了後に、電子図書館システム等の学術情報センターサービスの見学を予定しています。

◆第108回 自然言語処理研究会

(発表件数：23件)

(主査：新田義彦, 幹事：丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成7年7月20日(木) 9:45~17:30

21日(金) 9:45~17:00

会 場 福岡工業大学 本館6階 講義室

[福岡市東区和白東3-30-1. 福岡空港から市営地下鉄：博多下車(約5分), (乗り換え15分) JR(鹿児島本線) :

筑前新宮下車(普通で17分), 徒歩5分. Tel.(092)606-3131(ext.2296) 横田将生]

議 題

7月20日(木)

[9:45~11:45] ●学習, 知識獲得とその応用(1)

(1) 確率モデルによる主題の自動抽出

野本忠司(日立)

(2) n グラム統計によるコーパスからの未知語抽出

森 信介, 長尾 真(京大)

(3) HMMによる日本語形態素解析システムのパラメータ学習

竹内孔一, 松本裕治(奈良先端大)

(4) 植物図鑑のテキストと図による植物用語間の階層関係の獲得

渡辺靖彦, 長尾 真(京大)

[13:00~15:00] ●学習, 知識獲得とその応用(2)

(5) 最小汎化とオッカムの原理を用いた動詞格フレーム獲得

春野雅彦(NTT)

(6) 表層表現を利用した日本語文章における後方照応表現の自動抽出

松岡正男, 村田真樹, 黒橋禎夫, 長尾 真(京大)

(7) 用例や表層表現を用いた日本語文章中の指示詞・代名詞・ゼロ代名詞の指示対象の推定

村田真樹, 長尾 真(京大)

(8) 発話意図タイプ決定ルールの事例からの学習

熊本忠彦, 伊藤 昭(通信総研)

[15:30~17:30] ●一般

(9) PACLING-II 報告

中村順一, 甲斐郷子(九工大)

(10) ユーザ評価を用いたテキスト照合パターン生成手法

岩本秀明(NTT)

(11) 単語集合の自動構造化機能を利用した「情報散策」方式

有田英一, 安井照昌, 津高新一郎(RWC三菱)

(12) 境界概念の記述および理解の試み

横田将生(福岡工大)

7月21日(金)

[9:45~11:45] ●シソーラス, 文法, 解析

(13) 意味空間のスケール変換による動的シソーラスの実現

小嶋秀樹, 伊藤 昭(通信総研)

(14) シソーラスを利用した言語データ最適一般化アルゴリズム

田中英輝(NHK)

(15) 係り受け制約を含む文脈自由文法

田辺利文, 富浦洋一, 日高 達(九大)

(16) ニューラルネットに基づく日本語係り受け解析

清水浩行(名工大), 佐藤秀樹(日本電装), 立岡 章(CICC), 林 達也(名工大)

[13:00~15:00] ●談話, 対話

(17) 文章理解のための意味・文脈解析の試み

金子和恵, 八木沢津義, 藤田 稔(キヤノン)

(18) 日本語会話文の言語解析実験

田代敏久, 森元 暉(ATR)

(19) 自然な発話における言い間違いに関する考察

土井晃一(富士通研)

(20) 談話標識語の音韻的研究

川森雅仁, 川端豪, 島津 明(NTT)

[15:30~17:00] ●システム

(21) ナビゲーション対話システムにおける意味解析手法の検討

松原隆男, 伊藤元之, 高木 朗(CSK)

(22) WWW用機械翻訳システム: W3-PENSEE

村田稔樹, 山本秀樹, 永田淳次(沖電気)

(23) タスク環境を考慮した日韓音声翻訳システムのインタフェース改良

鈴木雅実, 井ノ上直己, 谷戸文廣(KDD)

*電子情報通信学会(言語理解とコミュニケーション研究会)と共催.

*20日の終了後,懇親会を予定しています(当日会場にて受付).

◆第46回 アルゴリズム研究会

(発表件数:16件)

(主査:浅野哲夫,幹事:加藤直樹,鈴木均,徳山豪)

日時 平成7年7月20日(木)10:00~17:00

21日(金)9:30~12:00

会場 大阪電気通信大学 図書館 小ホール

[寝屋川市初町18-8.京阪本線・鴨東線:寝屋川市下車,徒歩12分. Tel.(0720)24-1131 (ext.2450) 浅野研究室]

議題

7月20日(木)

[10:00~12:10]

- (1) Closure Properties of HRNCE Grammars Tae Eui Jeong (Seokyeong Univ.)
- (2) Properties of NLC Graph Languages squeezed with Bipartite Graphs Dong Hoon Lee (Korea Univ.)
- (3) 合成数の存在領域を求める並列処理アルゴリズム 永瀬 宏, 武田直樹, 永井 彰 (金沢工大)
- (4) An Adaptive Diagnosis Method in PMC Model
Abhijit Sengupta (Univ. South Carolina), Chung-Sei Rhee (Chungbuk National Univ.)

[13:10~17:00]

- (5) A visibility problem: optimal postings of monitors Chul E. Kim (POSTECH)
- (6) An Efficient Algorithm for Computing the Shadow Volumes from an Area Light Source
Kwan-Hee Yoo, Dae Seoung Kim, Kyung-Yong Chwa, Sung Yong Shin (KAIST)
- (7) Constant-time algorithms for interval graph problems on reconfigurable meshes
Y. Chung, Y. Cho, Kunsoo Park (Seoul National Univ.)
- (8) A Parallel Algorithm for the Mincut Linear Arrangement of Binary Trees Sung Kwon KIM (Kyungsoong Univ.)
- (9) An algorithm for scheduling jobs in hypercube systems Oh-Heum Kwon, Kyung-Yong Chwa (KAIST)
- (10) Generalized Edge-Rankings of Trees Xiao Zhou, Md. Abul Kashem, Takao Nishizeki (Tohoku Univ.)
- (11) A Capacity Scaling Algorithm for Convex Cost Submodular Flows 岩田 覚 (京大)

7月21日(金)

- (12) Nonadaptive Fault-tolerant Routing in Rotator Graphs
Yukihiro Hamada, Feng Bao, Aohan Mei, Yoshihide Igarashi (Gunma Univ.)
- (13) Algorithms for Finding f-Colorings of Partial k-Trees 周 暁, 西関隆夫 (東北大)
- (14) 二つの点集合の最大共通部分点集合を求めるランダムイズド・アルゴリズム 阿久津達也 (群馬大)
- (15) Edge Guards in Straight Walkable Polygons 譚 学厚 (東海大)
- (16) Topological Walk アルゴリズムのインプリメンテーション 喜多富男, 浅野哲夫 (大阪電通大)

*21日午後に大阪電通大情報科学センター主催のセミナー(講演:韓国POSTECH Prof. Kim 他)が開催予定です.

◆第37回 コンピュータと教育研究会

(発表件数:4件)

(主査:大岩元,幹事:神津陽一,三好和憲,村上洋一)

日時 平成7年7月21日(金)14:00~17:20

会場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)

議題

- (1) 招待講演:高等学校における情報教育の制度化 岡本敏雄 (電通大)
- (2) 情報基礎教育のためのアルゴリズム記述形式の提案 唐澤 博 (山梨大)
- (3) 理論と実際を関連づけたコンピュータサイエンス教授法—データベース教育を事例にして—
河村一樹 (尚美学園短大)
- (4) 用例に基づく類似文生成による日本語学習のための対話型ドリル作成システム 塩谷敦子, H.L.Somers (UMIST)

◆第7回 音声言語情報処理研究会

(発表件数：21件)

(主査：中川聖一，幹事：岡田美智男，小林 豊，新田恒雄)

日 時 平成7年7月20日(木) 13:00～17:40
 21日(金) 9:00～17:30
 22日(土) 9:00～15:30

会 場 かのや光楽苑

[加賀市片山津温泉 JR(北陸本線)：加賀温泉下車，タクシー7分。Tel.(07617)4-0611]

議 題

7月20日(木)

- (1) 特別講演：臨場感通信会議システムにおけるマルチモーダルインタラクション 宮里 勉，岸野文郎(ATR)
- (2) マルチモーダルな情報の処理過程－音韻知覚におよぼす視覚情報の影響－ 近藤公久(NTT)
- (3) 同時複数話者の音声会話理解およびジェスチャー理解との統合 伊藤慶明，木山次郎，関 進，小島 浩(RWPC)
張 建新(メディアドライブ研究所)，岡 隆一(RWPC)
- (4) 概念素に基づく意味理解における音声認識への統合手法 永井明人，石川 泰，中島邦男(三菱電機)
- (5) マルチモーダル UI とラビッドプロトタイプینگ 新田恒雄，神尾広幸，雨宮美香，内山ありさ，田村正文，松浦 博(東芝)
- (6) 音声対話システムにおけるプロンプト再送タイミングの設計法 西 宏之，北井幹雄(NTT)

7月21日(金)

9:00～12:00]

- (7) 特別講演：ATR 知能映像通信研究所の研究とその狙い 中津良平(ATR)
- (8) ドメインごとにエージェントを導入した音声ガイドシステム 酒井桂一，八木沢津義，藤田 稔博(キヤノン)
- (9) 地名認識システムとその応用 赤堀一郎(日本電装)
- (10) 習熟による対話音声情報の書き起こし精度の定量的評価 小林 聡，北澤茂良(静岡大)

12:50～17:30]

- (11) マルチモーダルインタラクションシステムの試作 宮崎敏彦，須崎昌彦，久野裕次，田川忠道(沖電気)
- (12) Wizard of Oz 方式によるマルチモーダル翻訳対話の分析

K.H. Loken-Kim, Laurel Fais, Tsuyoshi Morimoto (ATR)

- (13) 対話における感情の変化の解析 綿貫啓子，外川文雄(シャープ)
- (14) 音声対話におけるエージェントの態度と人間の発話の関連 八木正紀，平栗 覚，伊賀聡一郎，安村通見(慶大)
- (15) マルチモーダルなエージェント型ユーザインタフェースの評価と対話制御の検討 安藤ハル，畑岡信夫(日立)
- (16) パネルディスカッション (1)：マルチモーダルインタラクション－今，どのような視点を必要としているのか－
司会：畑岡信夫(日立)

パネリスト：岡 隆一(RWCP)，嵯峨山茂樹(NTT)，安村通見(慶大)，中津良平(ATR)

7月22日(土)

9:00～12:00]

- (17) マルチモーダルインタフェースを持つ住所入力システムの評価実験 荒井和博，吉岡 理，管村 昇，嵯峨山茂樹(NTT)
- (18) 音声入力を有するヒューマンインターフェースの操作性について 菊池英明，安藤ハル，小高俊之，天野明雄，畑岡信夫(日立)
- (19) パネルディスカッション (2)：インタラクティブなシステムの評価をどのように考えていくか

司会：新田恒雄(東芝)

パネリスト：浜田 洋(NTT)，中川聖一(豊橋技科大)，古井貞照(NTT/東工大) 平井 誠(松下電器)

12:50～15:30]

- (20) 文テンプレートによる発話文認識 望主雅子，室井哲也(リコー)
- (21) 休止を区切りとした対話処理 伊藤克亘，秋葉友良(電総研)，上條俊一(東工大)，田中和世(電総研)
- (22) ロバストな対話システム構築に関する一考察 伊藤敏彦，肥田野勝，山本幹彦，中川聖一(豊橋技科大)
- (23) 音声理解におけるサブサンプリング・アーキテクチャとその実現のための Reference Interval-free 連続 DP(RIFCDP)
岡 隆一，木山次郎，伊藤慶明(RWPC)

：本研究会は宿泊形式で行います。参加を希望される方は，6月23日(金)までに参加者氏名，所属，申込者連絡先(住所，Tel.，Fax.，e-mail)をご記入のうえ，下記担当幹事宛に電子メールまたはファックスにて直接お申込みください。宿泊費：24,000円(2泊分，食事込) 岡田美智男(ATR) Tel.(0774)95-1481 Fax.(0774)95-1408 e-mail: okada@mic.atr.co.jp

◆第11回 音楽情報科学研究会

(発表件数：10件)

(主査：鈴木 孝，幹事：志村 哲，中村滋延，平賀 謙)

夏のシンポジウム '95

本研究会恒例の夏のシンポジウムを今年はコバルトブルーの海に囲まれた志摩半島，合歓の郷で合宿形式で行います。深夜の討論会やパネル討論会など，存分に議論を交わすことができると思います。

日 時 平成7年7月21日(金) 13:45～17:00 (受付は12:00開始) *深夜の討論会(22:00～)

22日(土) 9:00～15:30

会 場 ヤマハリゾート「ホテル合歓」

[三重県志摩郡浜島町大崎半島，ヤマハリゾート合歓の郷。近鉄：鵜方下車(特急で名古屋から2時間，大阪から2時間30分)，タクシー15分。Tel.(05995)2-1111]

議 題

7月21日(金)

- (1) 開会の挨拶
- (2) 重回帰分析による演奏ルールの抽出 青野裕司(阪大)
- (3) FFT解析による裏声-表声の喚声点の特定化 田邊 隆(愛媛大)，村尾忠廣(愛知教育大)
- (4) Cyber尺八の開発 金森 務(LIST)
- (5) チュートリアル：ポストモダンの音楽理論-E.Narmourにおける認知的音楽分析への発展経緯- 村尾忠廣(愛知教育大)

(6) 深夜の討論会 [22:00～]

7月22日(土)

[9:00～12:00]

- (7) 標準的演奏データを用いたピアノ曲の自動演奏 星芝貴之，堀口 進(北陸先端大)
- (8) Two Finger Pianoによる曲想の表現 竹内好宏(亀岡高校)，片寄晴弘(LIST)
- (9) MAXを利用したVoice Shooting Game 片寄晴弘，金森 努，平井重行，井口征士(LIST)
- (10) アナクルーシスのパターン構造と，演奏における傾向 小川容子(立教女学院短大)，田口友康(甲南大)，村尾忠廣(愛知教育大)
- (11) 演繹オブジェクト指向に基づくジャズピアノ知識ベースシステムの試作 平田圭二(NTT)

[13:00～15:30]

- (12) マルチメディア生成系におけるプロセス間情報交換モデルの検討 長嶋洋一(LIST) 藤田康成(阪大)
由良泰人，片寄晴弘(LIST)，井口征士(阪大)
- (13) パネル討論：音楽とCSCW - Computer Supported Cooperative Work - 司会：荒木円博(豊田中研)

*宿泊等申込/照会先：95音情研夏シンポ大会実行委員会(e-mail: tmurao@auecc.aichi-edu.ac.jp Fax.(0566)36-3869)

氏名，住所，所属，Tel., Fax., e-mailなど明記のうえお送りください。宿泊費等：15,000円程度

◆第38回 情報学基礎研究会

(発表件数：6件)

(主査：石塚英弘，幹事：田村貴代子，千村浩靖，中川 優)

日 時 平成7年7月28日(金) 10:30～17:00

会 場 九州大学 大型計算機センター 多目的講習室3F

[福岡市東区箱崎6-10-1. JR：博多下車，地下鉄：(空港線)中洲川端乗換，(箱崎線)箱崎九大前下車。

Tel.(092)641-1101]

議 題 特集：大規模データベースからの知識発見

[10:30～12:00]

- (1) 確率文法におけるパラメタの一致性推定 日高 達(九大)
- (2) 辞書からの単語の主辞構造パターンの抽出 中村貞吾，永井秀利，野村浩郷(九工大)

[13:30～17:00]

- (3) 科学技術用語オントロジーの自動作成 松尾文碩，柴田 誠，竹田正幸(九大)
- (4) 短く記述された文字列上での照合問題 篠原 歩(九大)

(5) 複数文字列パターンによるアミノ酸配列からのタンパク質モチーフの発見

山口美千代，篠原 武(九工大)，藤野亮一(新日鉄情報通信システム)，有村博紀(九工大)，有川節夫(九大)

(6) 招待講演：アミノ酸配列データからの機械発見システム BONSAI Garden 宮野 悟(九大)

◆第55回 情報システム研究会

(発表件数：6件)

(主査：山本毅雄，幹事：内木哲也，神田 茂，中嶋聞多)

日 時 平成7年7月28日(金) 11:00～17:00

会 場 国立民族学博物館 第5セミナー室

[吹田市千里万博公園 JR(東海道本線)：茨木下車，近鉄バス(万博公園行)：日本庭園前下車，徒歩15分。

または地下鉄(御堂筋線)：千里中央下車，大阪モノレール：万博記念公園下車，徒歩15分。Tel.(06)876-2151

(同館庶務係)]

議 題 特集：博物館・美術館と情報システム

[11:00～12:30]

(1) 見学：国立民族学博物館情報システム等(11:00までに上記会場に集合のこと)

[13:30～17:00]

(2) 特別講演 [13:30～14:20]：これからの電子博物館

杉田繁治(民博)

(3) 博物館・美術館に求められるニーズと情報システム

土居吉和，四十谷利浩(NEC)

(4) 美術館におけるハイビジョンを用いた画像データベースの実際

原瀬裕孝(大日本印刷)

(5) 横浜美術館の美術情報

深田 独，相沢 勝(横浜美術館)

(6) ミュージアムの情報システムプランニングの実例

徳田樹彦(松下電器)

(7) 公立博物館における多階層資料群とコンピュータシステム化の範囲

石倉亮治(千葉県立中央博物館)

*今回は会場の都合により，下記要領にて事前に参加申込をお願いします。

申込方法：Fax.または郵便にて住所，氏名，所属，連絡先，見学会参加の有無を明記のうえ，7月15日迄にお申込みください。

申 込 先：〒253 茅ヶ崎市行谷1100 文教大学情報学部 中嶋 Fax.(0467)54-3721 Tel.(0467)53-2111

*** 研究発表会 論文・参加募集 ***

◆計算機アーキテクチャ研究会

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

◆プログラミング研究会

1995年並列/分散/協調処理に関する『別府』サマー・ワークショップ(SWoPP 別府'95)

参加募集

上記4研究会は，「1995年並列/分散/協調処理に関する『別府』サマー・ワークショップ(SWoPP 別府'95)」と題し，並列/分散/協調処理を横断的なキーワードとして，研究会を同時・連続開催いたします。プログラムは会誌7月号に掲載いたしますが，各研究会の開催日程および宿泊・交通等に関するお問合わせ先をご案内いたします。多数の方々のご参加をお待ちしています。

日 時 平成7年8月22日(火)・23日(水) システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会(OS)

23日(水)～25日(金) 計算機アーキテクチャ研究会(ARC)

24日(木)・25日(金) ハイパフォーマンスコンピューティング研究会(HPC)

24日(木)・25日(金) プログラミング研究会(PRO)

会 場 別府コンベンションセンター「B-Con Plaza」(大分県別府市)

宿泊・交通等に関する問合せ

SWoPP'95では宿泊・交通のバックを用意する予定です。本件に関しては以下にお問合わせください。

バックの申込フォーマット等に関しては下記のメイリングリストにて配布いたします。

照会先：JTB 大分支店 SWoPP 別府'95 係 担当：阿部 Tel.(0975)34-7151 Fax.(0975)34-9197

電子メールによる問合せ方法

SWoPPに関するメイリングリストを開設しています。SWoPPに関する最新の詳しい情報が必要な方はぜひ，本文に add YOUR-ADDRESS とだけ書いた電子メールを swopp-request@etl.go.jp 宛に送ってください。

(必ず YOUR-ADDRESS のところをご自分のメールアドレスと置き替えてください。)自動的にメイリングリストに登録され，以後最新情報が送られます。また，SWoPP'95に関するお問合わせは電子メールにて

swopp95-secretary@etl.go.jp までお願いします。

WWW による情報提供

以下の WWW で SWoPP に関するプログラム、会場案内、その他の情報をリアルタイムで提供しております。
URL = <http://www.etl.go.jp/Meetings/SWoPP/> にアクセスしてください。

* SWoPP 別府95の一環として、電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会、コンピュータシステム研究会、フォールトトレラントシステム研究会)を同時・並行開催いたします。詳しくは電子情報通信学会誌6月号をご覧ください。

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成7年9月8日(金)

会 場 機械振興会館

議 題 一般

発表申込締切 平成7年7月7日(金)

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名(登壇者に○)、略称所属、概要(50字程度)、連絡先(住所、氏名、Tel., Fax., e-mail)を記入の上、下記照会先へe-mailまたはFax.で直接お申し込みください。(できるだけe-mailでお願いします。)

照 会 先 深澤良彰(早大) e-mail:fukazawa@cfi.waseda.ac.jp Fax./Tel.(03)3208-9162

*電子情報通信学会(ソフトウェアサイエンス研究会)と共催。

◆人工知能研究会

第101回研究発表会は通常の論文発表の他にポジションペーパーによる蘊蓄(意見発表、議論喚起)を歓迎します。例えば、なぜAIを始めたか、AIは(今後)何をやるべきか、今のAIはどこが間違っているか、何が面白いのか、各自のテーマ/パラダイムの(哲学的)宣伝、複雑系へのアプローチなど、自分と同じ問題を考えている人を見つけたり、同じ仲間を引きずり込んだりするチャンスです。

日 程 平成7年9月12日(火)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

発表申込方法 通常論文・ポジションペーパーの別を明記してお申し込みください。

発表申込締切 平成7年7月7日(金)

◆自然言語処理研究会

日 程 平成7年9月14日(木)

会 場 日立 基礎研究所(埼玉県鳩山町)

発表申込締切 平成7年7月7日(金)

発表申込方法 *上記ソフトウェア工学研究会と同方法。

申込みには返信いたしますので、返信のない場合にはご連絡ください。

照 会 先 丹羽芳樹(日立・基礎研究所) Tel.(0492)96-6111(ext.241) Fax.(0492) 96-6006

e-mail: yniwa@harl.hitachi.co.jp

◆情報学基礎研究会

日 程 平成7年9月14日(木)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

議 題 文書処理・情報検索・情報探索(インターネットを含む)・マルチメディアに関連するものを広く募集します。

発表申込締切 平成7年6月30日(金)

発表申込方法 *上記ソフトウェア工学研究会と同方法。(Fax.または電子メールでお願いします。)

照 会 先 木本晴夫(NTT 情報通信研究所) Tel.(0468)59-3387 Fax.(0468)55-1152

e-mail:kimoto@syrinx.dq.isl.ntt.jp

◆オーディオビジュアル複合情報処理研究会

日 程 平成7年9月14日(木)

会 場 富山県立大学(富山県)

議 題 テーマ:マルチメディアとナビゲーション

発表申込締切 平成7年6月30日(金)

◆プログラミング研究会

日 程 平成7年9月19日 (*第51回全国大会(富山大学)前日)

会 場 石川ハイテク交流センタ(石川県能美郡辰口町旭台6-8)

議 題 一般講演を広く募集します。

発表申込締切 平成7年6月29日(木)

発表申込方法 *上記ソフトウェア工学研究会と同方法。(できるだけe-mailをお願いします。)

照 会 先 寺田 実(東大) e-mail:terada@sanpo.t.u-tokyo.ac.jp Tel.(03)3812-2111(ext.6280) Fax.(03)3815-8356

◆コンピュータビジョン研究会

日 程 平成7年9月21日(木)

会 場 電子技術総合研究所

発表申込締切 平成7年6月24日(金)

発表申込方法 *上記ソフトウェア工学研究会と同方法。

電子メールを受けましたら返信しますので、もし返信のない場合には連絡ください。

照 会 先 喜多伸之(工技院) Tel.(03)3501-9245 Fax.(03)3501-9229 e-mail:nkita@etl.go.jp

◆数理モデル化と問題解決研究会

日 程 平成7年9月21日(木)

会 場 名古屋工業大学

発表申込締切 平成7年7月7日(金)

照 会 先 白石洋一(群馬大) Tel.(0277)30-1854 Fax.(0277)30-1801 e-mail:siraisi@cs.gunma-u.ac.jp

*アルゴリズム研究会と連続開催。

◆グループウェア研究会

日 程 平成7年10月27日(金) *変更になっています。ご注意下さい。

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

議 題 一般

発表申込締切 平成7年7月28日(金)

発表申込方法 *上記ソフトウェア工学研究会と同方法。

照 会 先 村瀬一郎(三菱総研 情報技術開発部)

e-mail:murase@mri.co.jp Tel.(03)3277-0748 Fax.(03)3277-3741

◆情報システム研究会

第56回研究会を利用者を指向した情報システムという観点からの論文を広く募集いたします。研究論文だけでなく、経験事例の報告、問題提起、アイデアの提案などの論文も歓迎いたします。

日 程 平成7年10月17日(火)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(予定)

発表申込締切 平成7年7月15日(土)

発表申込方法 *上記ソフトウェア工学研究会と同方法。

(申込み後、1週間以内に受付の連絡が届かない場合はご確認ください。)

照 会 先 内木哲也(東洋大経営学部) Tel.(048)468-6680 Fax.(03)3945-7461 e-mail:uchiki@hakusrv.toyo.ac.jp

*上記の研究発表会以外および特に申込みの指定がない研究会の発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄未添付)を事務局研究会担当までお送りください(Fax., e-mail可)。(e-mailでお申込みの場合は、研究会発表申込書の様式で必要事項をご記入のうえお送りください。) Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp

◆第7回 分散システム運用技術研究グループ研究会

(発表件数：6～7件予定)

(主査：石田晴久，幹事：岩原正吉，箱崎勝也，林 英輔)

日時 平成7年7月7日(金) 13:30～17:00

会場 日立製作所 日立第二大森別館 13F 1308 教室

[東京都品川区南大井 6-27-18. JR:大森(山王東口)下車，徒歩5分. Tel.(03)3763-2411(ext.3011)]

議題

◇情報処理センターシステムにおけるユーザ管理，資源管理ツールの実装および評価

(小林克志，岡野 豊(電通大)，松原康男(学情センター))

◇NETWARE-DCE 連携システム

(伊藤浩道(日立))

◇ネットワーク管理システムにおけるマルチプロトコルハンドリングについて (蔭山克禎，藤崎智宏，荒野高志(NTT))

◇ATMによる学内LANのマルチメディア化の方式について

(高井正三，山淵龍夫(富山大))

◇その他2～3件を予定

*照会先：篠崎俊春(日立製作所情報事業本部) e-mail:t-shinozaki@comp.hitachi.ac.jp

Tel.(03)3763-2411(ext.3011) Fax.(03)5471-2574

◆テクニカルコミュニケーション研究グループ

第2回シンポジウムを下記のとおり開催いたします。奮ってご参加ください。

日時 平成7年7月7日(金) 9:00～17:00

会場 機械振興会館 B3F 研修2号室(所在地は前記参照)

テーマ 情報スーパーハイウェイ時代に向けたドキュメンテーション

参加費 一般：5,000円 学生：1,000円

照会先 杉田，谷本(富士通) Tel.(044)754-2660 Fax.(044)754-2662

*詳細は前(5月)号を参照，または上記照会先にお問合せください。

平成8年度研究会等の新設提案について

平成8年度に研究会・調査委員会の新設を希望する会員は，8月31日(木)迄に所定の書式により，研究会(調査委員会)新設提案書を当該委員会委員長宛に提出してください。書式および当該委員会等の詳細は事務局研究会係までお問合せください。



「会員データ確認書」について

事務局会員係

この度会員データの項目追加および確認のため，在会会員に「会員データ確認書」をお送りいたしました。事務局ではご記入いただきました項目を会員マスターに登録いたします。「会員データ確認書」は6月30日(金)必着でご返送ください。(Fax/e-mailでの返送は受けできません。)

今回の発送にあたり，送付先不明等の理由により発送ができない会員の方がおられます。お近くに，「会員データ確認書」が届いていないかあるいは最近機関誌等が届かないという会員の方がおられましたら，至急事務局会員係までお知らせくださいますようお願いいたしますととも，ご協力をお願いいたします。

平成7年度シンポジウム等行事予定一覧

(7.5.26 現在)

平成7年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場等が変更されることもありますので、ご注意ください。

<講習会・シンポジウム> () は主催研究会等英略称

情報科学若手の会	7.7.24 (月) ~ 25 (火)	奈良先端大
MPEG-4 とバーチャルリアリティオブジェクト符号化 (AVM)	7.7.25 (火) ~ 26 (水)	早大
夏のシンポジウム	7.7.26 (水) ~ 28 (金)	N T T (鎌倉)
グラフィクスと CAD (CG)	7.10.4 (水) ~ 5 (木)	工学院大
自然言語処理の応用 (NL)	7.10.19 (木) ~ 20 (金)	N T T (横須賀)
マルチメディア通信と分散処理 (DPS)	7.10.25 (水) ~ 27 (金)	大阪商工会議所賢島 研修センター
コンピュータシステム (OS)	7.11.7 (火) ~ 8 (水)	工学院大
情報のデザイン (IM)	7.11.9 (木) ~ 10 (金)	工学院大
電子化ドキュメント (IS)	7.11.21 (火)	工学院大
アドバンスト・データベース・システム (DBS)	7.12.5 (火) ~ 7 (木)	工学院大
情報処理教育と数理系カリキュラム (MPS, 他)	7.12.7 (木) ~ 8 (金)	農工大
Groupware '95 (GW)	7.12.12 (火) ~ 13 (水)	工学院大
プログラミング・シンポジウム	8.1.9 (火) ~ 11 (木)	箱根小湧園
1996 年情報学シンポジウム (FI)	8.1.17 (水) ~ 18 (木)	日本学会会議講堂

<小規模国際会議> () は主催研究会英略称

計算機性能の測定ならびに解析に関する 国際ワークショップ [PERMEAN'95] (ARC, HPC)	7.8.21 (月) ~ 22 (火)	別府コンベンション センター
自然言語処理環太平洋シンポジウム '95 [NLPRS '95] (NL)	7.12.4 (月) ~ 6 (水)	韓国
アルゴリズムとコンピュータシミュレーション国際シンポジウム [ISAAC '95] (AL)	7.12.4 (月) ~ 6 (水)	オーストラリア ケアンズ
第2回アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議 [APSEC] (SE)	7.12.5 (火) ~ 8 (金)	オーストラリア

<国際会議> () は関連研究会英略称

人間とコンピュータの関わりあいに関する第6回国際会議 [HCI Int'l '95]	7.7.9 (日) ~ 14 (金)	パシフィコ横浜
ASP-DAC'95/CHDL'95/VLSI'95 [ACV '95]	7.8.29 (火) ~ 9.1 (金)	日本コンベンション センター
第3回ネットワークとプロトコルに関する国際会議 [IEEE ICNP-95] (DPS)	7.11.7 (火) ~ 10 (金)	NEC 本社ビル
マルチメディア ジャパン 96 (OS, DBS, GW 他)	8.3.18 (月) ~ 20 (水)	パシフィコ横浜
第4回並列処理と分散処理に関する国際会議 [ICPADS '96] (GW, DPS)	8.6.3 (月) ~ 6 (木)	ホテルストラダグ新宿
IFIP Congress'96	8.9.2 (月) ~ 6 (金)	オーストラリア キャンベラ

<全国大会・連合大会>

電気・情報関連学会連合大会	7.8.8 (火) ~ 9 (水)	京大
第51回 全国大会	7.9.20 (水) ~ 22 (金)	富山大
第52回 全国大会	8.3.6 (水) ~ 8 (金)	電通大

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・コードNo.は開催のお知らせに記載してあります。
- ・参加費には資料代が含まれています。
- ・資料代には送料が含まれています。
- ・3日前までに連絡なき欠席の場合、参加費の返金はいたしません。
- ・下記A：(2)は主催研究会登録会員のみ該当します。

申込者 (該当を○してください)				
A：会員/非会員	(1) 会員	(2) 研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名	
D：勤務先			E：ご所属	
F：ご住所	〒			
G：Tel.			H：Fax.	
I：e-mail				

送付先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
J：

申込行事	
K：コードNo.	
L：参加費	円
M：懇親会費	円
N-1：資料のみ	円
N-2：資料のみ	冊

アンケート (宿泊付の部屋割りの参考にします)	
O：性別	(1)女性 (2)男性
P：たばこ	(1)すう (2)すわない
Q：年齢	(1)20代 (2)30代 (3)40代 (4)50代以上
R：通信欄	

S：支払方法 (該当を○してください)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *
	(2) 三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *
	(4) 当日持参
	(5) 現金書留
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと	

T：送金名義人		
U-1：請求書 通	U-2：見積書 通	U-3：納品書 通
V：請求書記載名義		
W：送金に関する問合せ先		

申込先 (社)情報処理学会 研究会/事業係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp
*e-mailでの申込み：各項目はカンマ(,)で区切り、(1) ... (5)は選択、その他は文字を記入のこと。 【例】A：(1) , B：9999999, C:情報太郎, . . . S：(1) (1月30日送金予定), T:情報太郎, U-1:1, U-2:1, U-3:1, V：(株)××電気, . . .

情報処理学会「連続セミナー95」“集中から分散へ” “マスからパーソナルへ”参加者募集

現在、標記セミナーの第2回～第6回までの参加者を下記のとおり募集しております。奮ってご応募願います。

記

会場	工学院大学 3F 312教室 (東京都新宿区西新宿)		
締切	定員 (250名, 学生は20名) になり次第締め切ります。		
資料	当日配布		
参加費	1 開催分: 正・賛助会員	18,000円	非会員 25,000円 学生 2,500円
	2 開催分: 正・賛助会員	36,000円	非会員 50,000円 学生 5,000円
	3 開催分: 正・賛助会員	54,000円	非会員 75,000円 学生 7,500円
	4 開催分: 正・賛助会員	60,000円	非会員 80,000円 学生 10,000円
	第2回～第6回分: 正・賛助会員	70,000円	非会員 90,000円 学生 10,000円
申込方法	本会告掲載の「行事申込書」を使い、郵便、Fax、e-mailで事務局事業係宛にお申し込みください。		

〔第2回〕平成7年7月14日(金)「情報システムの展望」

・セッション1 (10:10～11:15)

C/Sシステムは、基幹業務処理にどこまで対応できるか 有賀貞一 (野村総研)

・セッション2 (11:30～12:45)

経営者からみた分散システムの現状と問題点 北島光弘 (伊藤忠)

・セッション3 (14:00～15:15)

グループウェアで企業の情報処理システムはどう変わるか 菊池三郎 (ロータス)

・パネルディスカッション (15:30～17:30)

「企業の情報処理システムはどう変わるか」

コーディネータ: 杉山元伸 (NTTデータ通信)

パネリスト: 有賀貞一 (野村総研), 石井義興 (ソフトウェア・エージ)

菊池三郎 (ロータス), 北島光弘 (伊藤忠)

〔第3回〕平成7年9月26日(火)「エージェントシステムとその高度化」(9月14日から変更)

・セッション1 (10:00～11:15)

エージェント通信と協調プロトコル 石田 亨 (京大)

・セッション2 (11:30～12:45)

ソフトウェアエージェント 西田豊明 (奈良先端大)

・セッション3 (14:00～15:15)

人間とエージェントとのインタラクション 竹内彰一 (ソニーCSL)

・パネルディスカッション (15:30～17:30)

「新しいネットワーク応用の可能性」

コーディネータ: 石田 亨 (京大)

パネリスト: 竹内彰一 (ソニーCSL), 西田豊明 (奈良先端大),

服部文夫 (NTT), 飯田一郎 (富士通研)

〔第4回〕平成7年11月29日(水)「エンタテイメントのための画像制作技術」(11月17日から変更)

コーディネータ: 大野義夫 (慶大)

〔第5回〕平成8年1月19日(金)「ネットワーク・コンピューティング(仮題)」

コーディネータ: 松田晃一 (NTT)

〔第6回〕平成8年3月22日(金)「生命科学とコンピュータ(仮題)」

コーディネータ: 松尾和洋 (富士通)

セッションの詳細等は、確定次第会告いたします。

内容および日程、日時が多少変更される場合がございます。ご了承願います。

情報処理学会第 51 回全国大会参加および論文集 予約案内

第 51 回（平成 7 年後期）全国大会の講演論文集・参加・懇親会の予約受付を開始いたしますので、ぜひお申込みくださいますようお願い申し上げます。なお、講演論文集の発送については、大会会場渡りまたは大会後の有料発送になりますのでよろしくお願いいたします。

日 程 平成 7 年 9 月 20 日（水）～ 22 日（金）

会 場 富山大学人文学部（富山市五福 3190）

論 文 集 B 5 判オフセット印刷

プログラム概要（詳細なプログラムは本誌 8 月号掲載）

- ・招待講演（1） 「越中売薬と情報」 植村元覚（富山大名誉教授）
- ・招待講演（2） 「情報通信新技術の動向を探る（仮題）」 葉原耕平（ATR）
- ・パネル討論 「SEは何を学ぶべきか、何を学ぶべきでないか（仮題）」
（司会）市川照久（三菱）
- ・公開パネル討論「地域とインターネット」 （司会）北野孝一（インテック）
- ・一般講演 大会期間中 9：00～17：00

参 加 費（プログラム・参加賞を含む）

会員 2,000 円（賛助会員は正会員に準ず） 非会員 4,000 円 学生 無料

論文集内容

- 第 1 分冊 基礎理論と基礎技術，ネットワーク，教育，応用，その他
- 第 2 分冊 人工知能と認知科学（人工知能システム，生体情報処理，感性情報処理）
メディア情報処理（音声言語情報処理，画像信号処理，画像・図形認識，コンピュータグラフィクス）
- 第 3 分冊 人工知能と認知科学（知識処理，自然言語処理）
メディア情報処理（テキスト処理，メディア処理装置，マルチメディア処理）
- 第 4 分冊 ソフトウェア（基礎理論，ウィンドウシステム，オペレーティングシステム，プログラミング技術），
データベース，信頼性と安全性
- 第 5 分冊 ソフトウェア（プログラミング言語と仕様記述，言語処理系，ツール）
ソフトウェア工学
- 第 6 分冊 ハードウェア，並列処理，システム

予約価格 1 冊各 4,000 円（定価 6,000 円消費税込）
セット 24,000 円（定価 36,000 円消費税込）
（論文集 6 冊一揃，講演者索引，カバー付）

送 料 4 冊以下 全国一律 800 円
5 冊およびセット 北海道・九州 1,400 円 東京 23 区 800 円
関東・甲信越・南東北（山形，宮城，福島）・東海・北陸・岐阜・東近畿（滋賀，三重） 1,000 円
北東北（青森，秋田，岩手）・西近畿（京都，大阪，奈良，和歌山，兵庫）
・中国・四国 1,200 円

懇 親 会 9 月 20 日（水）18：00 富山第一ホテル（会費 4,000 円 学生 2,000 円）

申込要領 参加，論文集ともに第 51 回全国大会予約申込書（本会告次頁掲載）を事務局へ郵便，Fax，または e-mail
でお送りください。（電話による予約は不可）

申込締切 平成 7 年 8 月 11 日（金）必着（その後は予約扱いいたしませんので，ご注意ください。）

第 51 回全国大会予約申込書 (お一人1枚にて、下記ご記入ください)

分冊	予約価	部数	金額
第1分冊(a.)	4,000円		
第2分冊(b.)	4,000円		
第3分冊(c.)	4,000円		
第4分冊(d.)	4,000円		
第5分冊(e.)	4,000円		
第6分冊(f.)	4,000円		
セット(g.)	24,000円		
送付法(h.)	・ 会場で受け取る		
(i.)	・ 送付希望		
参加予約(j.)	会員 2,000円		
(k.)	一般 4,000円		
懇親会予約(l.)	一般 4,000円		
(z.)	学生 2,000円		
合計(m.)			

注1. 送料は、前頁掲載の会告「第51回全国大会参加および論文集予約案内」をご参照ください。

注2. 会場での受け取りを希望される場合の送料は不要です。

注3. 送付を希望され、その後会場受け取りに変更の場合の送料は返金いたしません。

支払方法

- ・ 当日会場受付にて支払い(n.)
- ・ 現金書留で _____ 月 _____ 日送金(o.)
- ・ 郵便振替(00150-4-83484)で _____ 月 _____ 日送金(p.)
- ・ 銀行振込で・第一勧業銀行虎ノ門支店普通 1013945 (q.)
 - ・ 三菱銀行虎ノ門公務部普通 0000608(r.)

以上、名義人 社団法人 情報処理学会

- ・ 三菱銀行虎ノ門公務部 0003774(全国大会専用口座)(s.)

名義人 社団法人 情報処理学会講習会

_____ 月 _____ 日送金

送金人名義(t.) _____

請求書類 請求書 _____ 通(u.) 見積書 _____ 通(v.) 納品書 _____ 通(w.)

請求先(x.) _____

申込み先 (社) 情報処理学会 事業係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20
芝浦前川ビル7F, Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

e-mail での申込方法

たとえばあなたが、「2分冊1部の送付と、会員として参加を予約され、お支払いを、銀行振込6月15日付で第一勧業銀行ノ門支店に情報太郎名義で振り込み、そのために請求書が1通必要」の場合、初めに「subject:51y」と入れ、以下各項目括弧内のアルファベットに続けて [b.1,4000l.800j.2000m.6800q.6/15t.情報太郎 u.1x.情報太郎] としてください。なお、y.についてはそのまま宛名ラベルとして使いますのでもれなく明記してください。

連絡・送付先(y.)

住所 〒 _____
機関・部課名 _____

氏名 _____ (会員番号: _____)

Tel.(_____) - (ext. _____) Fax. _____

全国大会講演論文集継続購入者のご案内

本学会では、毎年2回開催される全国大会の講演論文集を定期配本いたしております。これは、各全国大会の開催初日に発行される講演論文集を、全冊1セットで大会終了後速やかにお手元にお送りするシステムで、毎回の全国大会のたびに予約する必要もなく、また送料も無料となっており、現在259名の個人、企業、教育機関の方々からご好評をいただいております。ぜひご利用ください。

頒 価：1セット 24,000円（消費税込）

ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入の上、郵便、Fax、またはe-mailにて下記申込み先までお送りください。（第51回大会については平成7年8月11日（金）締切です）

記

下記のとおり、全国大会論文集を継続購入で申し込みます。

1. 申込部数：第 _____ 回全国大会から _____ セット

2. 請求必要書類：

請求書 _____ 通、 納品書 _____ 通、 見積書 _____ 通

3. 請求書宛名

（注：指定の用紙があればお送りください）

4. ご担当者名（必ずご記入ください、また担当者変更の際は必ずご連絡ください）

Tel.(_____) - _____ (ext. _____)

5. 申込み先 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
（社）情報処理学会 全国大会係
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534
e-mail:jigy@ipsj.or.jp

6. 送本先

住所 〒

機関・部課名

氏名

殿

Tel.(_____) - _____ (ext. _____)

Fax.(_____) - _____

Teleteaching'96 · Advanced IT Tools · Mobile Communications



INTERNATIONAL FEDERATION
FOR INFORMATION PROCESSING

14th World Computer Congress



CALL FOR PAPERS

in Canberra, Australia 2-6 September 1996

Congress Outline

There will be three specialised conferences held during the 14th World Computer Congress. The conferences will share a common venue, trade exhibition, social events, opening and closing ceremonies. Delegates to each conference will be able to break out of the specialised program of their own conference and take part in activities of the other two:

**1 1996 World Conference
Teleteaching'96**

This conference will explore issues of IT and education in the 1990s, with a special focus on teleteaching.

**2 1996 World Conference
Advanced IT Tools**

With special focus on Innovative Applications, Intelligent Systems and their use in the Public Sector.

**3 1996 World Mobile
Communications Conference**

With three streams Mobile Visualisation, Smart Cards and Trusting in Technology.

IFIP and its Congresses

The International Federation for Information Processing (IFIP) is a multinational federation of professional and technical organisations (or national groupings of such organisations) concerned with information processing. From any one country, only one such organisation - which must be representative of the national activities in the field of information processing - can be admitted as a full member. IFIP has 65 representing member countries. The Australian member is the Australian Computer Society.

Australian Computer Society

The Australian Computer Society is the professional association in Australia for those in the computing and information technology fields. Established in 1966, the ACS has over 15,000 members and on a per capita basis is one of the largest computer societies in the world.

Canberra Venue

The National Convention Centre, is one of the most modern and largest convention venues in Australia. It offers flexibility and state-of-the-art conference technology. The main venue will be equipped with the most advanced technology available for real-time multi-media presentations by noted international speakers. Australian accommodation and tour information is available from the IFIP'96 Secretariat.

Exhibition

The Exhibition will form an integral part of the IFIP'96 - 14th World Computer Congress. It will feature the display of the latest equipment, software products, and services offered by local and internationally known companies. An information brochure for exhibitors is available from the IFIP'96 Secretariat.

On-Line Event

One feature of both the congress and exhibition will be extensive use of computer networks. Details of conference events will be available on-line to delegates from the conference venue, hotels and the exhibition complex.

Chairpersons

Program Committee Co-chairs:

Professor Dr Egon Hörbst & Dr Prem Gupta

1996 World Conference - Teleteaching'96:

Associate Professor Sandra Wills

1996 World Conference - Advanced IT Tools:

Dr. Nobuyoshi Terashima

1996 World Conference - Mobile

Communications: Prof. Encarnacao

Organising Committee Chairman:

Professor Ashley Goldsworthy

Conference Secretariat

IFIP'96 Congress Secretariat

c/- Australian Convention and Travel Services

GPO Box 2200

Canberra ACT 2601 Australia

Tel +61 6 257 3299

Fax +61 6 257 3256

E-mail ifip96@acs.org.au

<http://www.acs.org.au/ifip96.html>

**Expression of Interest Reply Form
14TH World Computer Congress
Canberra, Australia
2-6 September 1996**

Title _____ Surname _____

Given Names _____

Male Female

Address (for future mailings) _____

Country _____

Telephone No _____

Facsimile No _____

Electronic mail _____

I would be interested in:

Attending Preparing a paper

Sponsoring Exhibiting

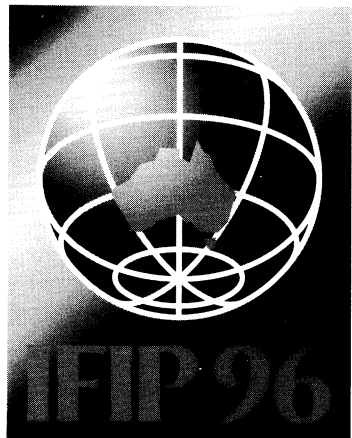
At 1996 World Conference

Teleteaching'96

Advanced IT Tools

Mobile Communications

I expect to be accompanied Yes No





正会員新入会の特別キャンペーンの実施について

事務局会員係

当学会はわが国の情報処理に関する学術・技術の進歩発展，調査研究活動を主旨に，設立以来会員（現在約3万名），ならびに学界・官界および産業界の支援のもとその発展に貢献しております。しかしながら昨今の景気低迷の影響を受け，ここ数年新入会員数の伸びが鈍化し，会員各位の会費に負うところが多い学会運営に少なからぬ影響を与えています。

そこで，21世紀の情報発信者として情報処理分野の指導的役割を果たすとともに，さらなる情報処理の学術・技術の向上を目指し，新しい情報化社会の人材として多くの方々にご入会いただきたく，正会員新入会の特別キャンペーンを実施し入会促進を図ることになりました。キャンペーン期間中は正会員の入会時の入会金(2,000円)が無料となります。

会員の皆様には，是非この機会にお知りあいの方に入会をお勧めくださいますようお願いいたします。

- (1) 対象者 正会員の入会希望者
 (2) 特典 入会金(2,000円)無料
 (3) 実施期間 平成7年9月20日(水)まで 入会申込書，会費入金必着
 *期間以降の入会希望の場合は入会金2,000円をいただきます。
 (4) 申込方法 申込み手続きは簡単です。「入会申込書」(奇数月号巻末綴じ込み)に所要事項をご記入いただき，事務局会員係宛に送付願います。また別途会費(9,600円)は各口座(郵便，銀行)等にお振り込みください。
 *3月号巻末に「入会のおすすめ」を掲載しておりますのでご参照ください。
 (5) 送金口座 名義人 社団法人 情報処理学会 (各口座とも)
 郵便振替 00150-4-83484
 第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普)1013945
 三菱銀行 虎ノ門公務部(普)0000608
 (6) 申込み/ 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 照会先 (社)情報処理学会 会員係
 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail.mem@ipsj.or.jp

*入会后(2年目)の正会員(除く，一括扱い)会費および購読費の納入には，手続きが簡単な納入方法として，「預金口座自動振替」をおすすめいたします。平成8年度から自動振替納入を希望される方は，入会申込みの際に会員係までお知らせください。



平成7年度会費・購読費の納入について(お願い)

事務局会員係

本年度の会費・購読費をまだご納入いただけていない会員の方に，6月下旬に郵便振替用紙を発送いたしますので早急にご納入ください。会費・購読費は前納を原則としております。

なお，7月末日までにご納入いただけない場合は，9月から機関誌(学会誌・論文誌)の発送を停止させていただきます。後日ご納入いただいても，停止期間中の学会誌・論文誌をお送りできないこともありますのでご留意願います。

また，阪神大震災で災害にあわれた会員の方で，平成7年度会費免除を希望される場合には，被災状況(証明書^ホ-)を記して事務局会員係までご連絡ください。

[口座自動振替ご利用の方へ]

去る3月27日に振替をいたしましたのでご確認をお願いいたします。

なお，7月27日に振替の方は3月に振替未済の方または新規申込の方となりますので，預金残高をご確認いただき，振替額不足にならないようご注意ください。



海外からの送金方法について

海外からの会費、論文誌購読費、各種行事参加費、各種図書購入費等については、円またはドルの銀行小切手により送金されていますが、次のような問題があります。

1. 銀行小切手作成の手間がかかる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により、常に過不足を生じ、経理上支障がある。
3. 円またはドルに拘らず、1,500～2,500円の換金手数料をとられる。

この点を改善するため、海外からは[VISA][MasterCard][American Express]および[Diner's Club]により円立で送金できるようにしました。なお、申込書様式は下記のとおりで、A4判用紙を用いて必ず郵送してください(Faxは不可)。

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN

Shibaura-Maekawa Bldg. 7F, 3-16-20, Shibaura, Minato-ku Tokyo 108, JAPAN

Tel.: 81-3-5484-3535 Fax.: 81-3-5484-3534 e-mail: mem@ipsj.or.jp

I wish to pay with my credit card.

Circle one: MasterCard VISA American Express Diners Club

- (1) Card number _____
- (2) Expiry date _____ / _____
- (3) Full name of holder as it appears on the card _____
(Membership Number _____)
- (4) Amount _____ Japanese Yen
- (5) Detail (annual fees, Journal, etc.) _____

- (6) Mailing address _____

(City) _____ (Postal Code) _____ (Country) _____
Tel. _____ Fax. _____
e-mail _____
Date _____ / _____ / _____
Signature _____

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to : Information Processing Society of Japan

Bank account no.046 - 1013945

Toranomon Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.



有料会告について

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

記

1. 掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金
論文募集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会等の論文募集・参加者募集に限る。	1ページ または 1/2ページ	(共催) 1ページ 50,000円 1/2ページ 30,000円
			(協賛・後援) 1ページ 100,000円 1/2ページ 50,000円
教官募集	学校またはその附属機関，公益法人，官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る。	1/5ページ	1件あたり 20,000円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本会会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。

なお，フロッピーディスクまたはe-mailでも受け付けますので，ご相談ください。

4. 申込期限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください。

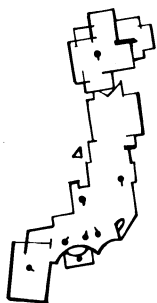
6. 掲載申込先

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

(社) 情報処理学会 有料会告係

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

支部だより



情報処理学会地方支部連絡先

北海道支部	〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内 Tel.(011)706-6819 Fax.(011)706-6819 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp
東北支部	〒980 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院情報科学研究科内 Tel.(022)263-9437 Fax.(028)263-9437 e-mail:nakao@ecei.tohoku.ac.jp
東海支部	〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内 Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521
北陸支部	〒930 富山県富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科内 Tel.(0764)41-1271(ext.2707) Fax.(0764)41-8432 e-mail:hirose@ecs.toyama-u.ac.jp
関西支部	〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付 Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443 e-mail:infor-soci@kiis.or.jp
中国支部	〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内 Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp
四国支部	〒770 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内 Tel.(0886)56-7496 Fax.(0886)23-2761 e-mail:kita@is.tokushima-u.ac.jp
九州支部	〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル NTT データ通信(株)九州支社総務担当内 Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185 e-mail:hitaka@lang.ai.kyushu-u.ac.jp

東海支部 講演会

日時	平成7年6月28日(水) 13:00 ~ 16:00
会場	三重大学 工学部情報棟1F 多目的会議室
演題	情報処理の新しいパラダイム 寺田浩詔氏(大阪大学教授)
参加費	無料(参加資格は問いません)
照会先	〒514 三重県津市上浜町1515 三重大学工学部情報工学科 太田義勝 Tel.(0592)31-9454

第2回計算工学シンポジウムー“コンピュータによるデザイン”ー

日時	平成7年6月29日(木)
会場	名古屋大学シンポジオン (名古屋市千種区不老町)
プログラム	10:00 ~ 10:10 開会の挨拶 10:10 ~ 11:10 「計算固体力学の現状と将来」 武田 洋 氏(法政大学) 11:10 ~ 12:00 「航空機等の空力設計における数値流体力学」 嶋 英志 氏(川崎重工) 13:00 ~ 13:50 「造形の発想を支援するシステムについて」 萩原 祐志 氏(三菱重工) 13:50 ~ 14:40 「人工生命ーコンピュータによる生命/行動メカニズムのデザイン」 有田 隆也 氏(名古屋大学) 14:40 ~ 15:30 「高分子材料/高分子加工における計算機利用」 松岡 孝明 氏(豊田中研) 15:30 ~ 16:20 「タンパク質のリアルなシミュレーション」 斉藤 稔 氏(蛋白質工学研) 16:20 ~ 16:50 閉会の挨拶 17:00 ~ 19:00 懇親会(名古屋大学シンポジオン内・ユニバーサルクラブ)
照会先	〒464-01 名古屋市中千種区不老町 名古屋大学工学部電子情報学科 古橋 武 Tel.(052)789-2792 Fax.(052)789-3166 E-mail: furuhashi@nuce.nagoya-u.ac.jp 名古屋大学計算工学研究会主催, 情報処理学会東海支部共催, 応用物理学会東海支部共催

講演会

日時	平成7年7月12日(水) 13:30 ~ 15:00
会場	中部電力株式会社本店 中電ビル西館5階 西5-1会議室
演題	中部電力における地図情報システム 太田好彦氏(中部電力)
参加費	無料(参加資格は問いません)
照会先	〒461-91 名古屋市中区東新町1 中部電力株式会社情報システム部技術システムグループ 市岡千広 Tel.(052)951-8211

北陸支部 平成7年度電気関係学会北陸支部連合大会開催案内

日時 平成7年9月29日(金), 30日(土)
9月29日(金) 一般講演, 特別講演(午後3時40分)、懇親会(午後6時)
30日(土) 一般講演

会場 福井大学工学部(福井市文京3-9-1) JR福井駅前よりバス約10分(200円)

特別講演 「新しい情報処理パラダイムを求めて」
寺田浩詔氏(大阪大学工学部 情報システム工学科教授, 電子情報通信学会副会長)

一般講演の募集要項

投稿者 会員に限る(連名の場合は少なくとも一名は会員のこと)。所属支部, 発表件数は制限しない。ただし, 実行委員会において必要と認めるときは適宜処理することがある。

講演内容 最近行った研究, 工事報告, 現場試験報告, 新製品の紹介など。

講演時間 12分(質問時間を含む)

講演予稿 オフセット印刷(B5版)による。応募原稿は必ず所定の用紙(A4版1枚)を使用すること。原稿用紙は無料, 下記講演申込先に問合せのこと。

講演申込費 論文1件につき3,000円。ただし, 講演者が学生員または准員の場合2,000円とする。(講演申込時に納入のこと。郵便振替に限る。納入後は原則として払戻しはしない。)

別刷 講演者に30部贈呈(無料)。

原稿送付期限

平成7年8月24日(木)必着のこと。期限後の到着は受理しない。原稿に添えて, 講演申込書および郵便振替の払込証明書(写しでも可)を同封すること。

講演申込および問合せ先

〒910 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部 情報工学科内 電気関係学会北陸支部連合大会実行委員会
Tel.(0776)27-8769(総括:谷口)(0776)27-8771(庶務:山本)(0776)27-8578(会計:都司)
Fax.(0776)22-7465(谷口慶治)

主催 電気学会, 電子情報通信学会, 照明学会, テレビジョン学会, 日本ME学会, 情報処理学会各北陸支部
協賛 日本設備管理学会北信越支部

関西支部 平成7年電気関係学会関西支部連合大会講演募集案内

(講演申込みおよび原稿送付期限 8月5日(土)必着のこと:郵送に限る)

日時 平成7年11月11日(土)・12日(日)

会場 京都大学 総合人間科学部(606-01 京都市左京区吉田二本松町)

講演募集要領

講演の形式 シンポジウムおよび一般講演

応募者の主催学会会員(准員・学生員を含む)に限る。ただし, 連名の場合は会員以外の者を含んでもよいが, 講演者は資格会員(准員・学生員を含む)でなければならない。今年度より情報処理学会が主催学会として参加します。

講演内容 最近行った研究, またはあげた成果で, 学術的に価値のある未発表のものに限る。講演は1人1件に限る。

応募上の制限 同一人が数件の応募論文に共著者として参加することは差し支えないが, 内容がきわめて類似したものを数件にわたって発表することは認めません。

講演時間 1件につきシンポジウム30分程度, 一般講演15分以内。ただし, 各講演について実行委員会が決定し, 講演者に通知します。

申込の取扱い

- (1) プログラム構成上の都合によっては, 講演形式および部門を変更することがあります。
- (2) 内容を不相当と認めた場合は採択しません。
- (3) 一般講演ならびにシンポジウムにはOHPのみを準備します。

講演部門

シンポジウム 題目未定

一般講演 G1.電気理論・電気物理 G2.計測 G3.制御・システム G4.電気機器・電力応用 G5.電力
G6.電気材料 G7.光・レーザ応用 G8.電磁波・通信システム G9.電子デバイス・材料
G10.光・量子エレクトロニクス G11.電子回路・集積回路 G12.情報基礎・情報科学・応用情報処理
G13.計算機ハードウェア・計算機システム・ネットワーク G14.人工知能・知識システム・認知科学

G15.ソフトウェア工学・データベース G16.計算機ソフトウェア G17.照明
G18.テレビジョン・ディスプレイ G19.画像エレクトロニクス G20.音響

注1) G7.光・レーザ応用については、同位体分離、レーザ加工、医療レーザ、電力用光通信システム等に関するものである。

注2) G20.音響については、音声・聴力・電気音響（機器・信号処理を含む）・超音波・建築音響・騒音・振動・音楽等に関するものである。

講演申込金 正会員 3,000 円, 准員・学生員 2,000 円

[大会参加費（正会員 1,500 円, 准員・学生員 1,000 円）を含む。]

申込および
原稿提出 (1) 下記要領の請求票と返信用切手 90 円を添えて実行委員会あてに郵送により申し出れば、折返し「講演申込書」「講演原稿の書き方」「振替用紙」などを送付する。なお、請求票の送り先欄はそのまま「講演申込書」などの郵送宛名に使用しますので、正確に記入して下さい。

(2) 論文原稿のページ数は、各論文 1 ページとします。原稿用紙は学会から送付せず、A4 サイズ・ワープロ出力をそのまま原稿として使用しますので、「原稿の書き方」に留意して作成して下さい。論文不採択の場合、講演申込金は返金します。

(3) 「講演申込書」に必要事項を記入し、「講演申込書」のオリジナルとコピー 4 部を「論文原稿」のオリジナルコピー 4 部とともに 8 月 5 日（土）までに必着するように送付して下さい、「論文採択通知用ハガキ」には返信用の 50 円切手を必ず添付のこと。申込後、ただちに講演申込金を所定の振替用紙（1 人 1 枚厳守）を用いて通信欄に必要事項（論文題目など）を記入のうえ送金のこと。

申込および
原稿送付先 〒606-01 京都市左京区吉田本町 京都大学工学部電気系教室事務室内電気関係学会関西支部連合大会
事務局論文作成関連：吉田 進 Tel.(075)753-5317（京都大学工学部電子工学科）

その他一般事項：奥村浩士 Tel.(075)753-5330（京都大学工学部電気工学科）

表彰 本年度も、会員の育成と当該学会の発展を目的として、優秀な講演発表を行った新進の研究者・技術者に下記の賞を贈呈します。

(1) 連合大会奨励賞 シンポジウムおよび一般講演全部門を対象とする。

(2) 電気学会論文発表賞 電気学会関係一般講演部門（G1～G7）を対象とする。

参考 (1) 採択された講演論文はオフセット印刷し、論文集として発行する。

(2) 講演者には大会の次第書および参加証を送付する。

(3) 論文は J I C S T のデータベースに登録を予定している。

主催 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会・照明学会・テレビジョン学会・日本音響学会各関西支部

四国支部 講演会

日時 平成 7 年 7 月 10 日（月）10：40～12：30

会場 高知工業高等専門学校視聴覚室

演題 「生物と情報」

中内光昭氏（高知大学学長）

協会先 〒783 南国市物部乙 200-1 高知工業高専電気工学科 益弘昌典
Tel.(0888)64-5547

九州支部 電気関係学会九州支部第 48 回連合大会講演募集

日時 平成 7 年 9 月 29 日（金）、30 日（土）

会場 九州芸術工科大学（815 福岡市南区塩原 4-9-1）

講演者 主催学会会員に限る（当支部所属に限らない）

講演内容 最近行った研究、計画および工事報告、現地試験報告、新製品の紹介など。

講演方法 (イ) 1 件 10 分以内、ただし都合で多少短縮することがある。

なお、講演募集の結果によっては然るべき件数を選択してシンポジウム形式の講演とすることがある。

(ロ) OHP による講演を原則とする。スライドの使用は不可。

講演申込 (イ) 原稿はかならず当会所定の「原稿用紙」を使用すること。（オフセット印刷、図面・表を含む 1 頁とする）

方法 (ロ) 「原稿用紙」「講演申込書」は申し出により交付。「原稿用紙」等：1 部 100 円

郵送の場合は、1 部 250 円、2 部以上のときは 1 部増すごとに 150 円増の郵便切手を送付のこと。

(ハ) 締切日：7 月 31 日（月）午後 5 時 「原稿」「講演申込書」は締切日までに必着のこと。

講演申込費 講演 1 件につき 3,000 円（講演者には論文集を 1 部大会当日受付にて贈呈する、別刷りの申込には応じない）

尚振替郵便で講演申込費を支払いをされる方は、論文申込時に振替払込書の受領書のコピーを必ず同封のこと。

申込先 〒 812-81 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会
Tel.(092) 641-1101(5300) Fax.(092)631-2790
振替口座番号 017800 2-33001 加入者名 電気関係学会九州支部連合会
主催 電気関係学会九州支部連合会
電気学会・電子情報通信学会・テレビジョン学会 照明学会・情報処理学会 各九州支部

機関誌原稿執筆案内の改訂について

学会誌編集委員会
論文誌編集委員会

情報処理学会ではかねてから論文誌関係を中心に機関誌原稿執筆案内の見直作業を行ってまいりましたが、このほど学会誌編集委員会および論文誌編集委員会できまり、7月1日から実施することとしました。改訂後の執筆案内は巻末に掲載しておりますのでご参照ください。主要な変更箇所はつぎのとおりです。

1. 「情報処理」関係

- (1) 実務分野の新設に伴い、記事種目に「事例」を加えました。
- (2) 著者紹介は原稿提出時に添付していただくこととしました。

2. 「情報処理学会論文誌」関係

- (1) テクニカルノートの刷上ページ数に上限を定め、標準2ページ、上限4ページとしました。
- (2) キーワード表について、全面的見直しを行いました。
- (3) 論文誌出版電子化 (Vol.36 No.5 会告参照) に伴い、投稿方法の改訂を行いました。

なお、LaTeX のスタイルファイルは7月1日からリリースを開始します。取得方法については執筆案内をご参照ください。

雑 報

○平成7年度国際通信研究奨励金のご案内

国際電気通信に関する工学または社会科学について基礎、応用、学際的調査研究を奨励するものです。締切は7月13日です。詳細は下記にお問合わせください。

照会先 〒 153 東京都目黒区中目黒 2-1-23 (財) KDDエンジニアリング・アンド・コンサルティング Tel.(03)3794-8203

○第11回電気通信普及財団賞の「テレコムシステム技術賞」「同、学生賞」論文募集

情報通信の基礎理論またはシステムの研究、開発、応用に関するもの。応募締切は9月30日です。詳細は下記へお問合わせください。

対象論文 学会誌、国際会議、研究会に採録ないし発表が決定したもの、または著書。
表彰 テレコムシステム技術賞：5論文以内（賞金各50万円）、同、学生賞：10論文以内（賞金各20万円）
照会先 〒 105 東京都港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル (財) 電気通信普及財団 Tel.(03)3470-7518

○第9回「日本IBM科学賞」候補者募集

対象概要 物理・化学・コンピュータサイエンス・エレクトロニクスの分野で研究活動を行っている国内の大学あるいは公的研究機関に所属する45歳以下（8月15日現在）の基礎研究者（国籍は問わない）
賞金等 賞状と副賞のメダルおよび賞金300万円、6名（6件）
推薦方法 所定の推薦書による
推薦締切 1995年8月15日
照会先 〒 106 東京都港区六本木 3-2-12 日本IBM科学賞事務局 Tel.(03)3586-1111 (ext.4381)

教官募集



●大阪工業大学

[電気工学科]

募集人員 講師または助教授 1 名
 専門分野 システム制御 (計算機システム, 情報処理, 制御工学を含む)
 応募資格 博士の学位を有し大学院の研究指導可能で 35 歳以下の方

[電子工学科]

募集人員 講師または助教授 1 名
 専門分野 コンピュータハードウェア・デジタル電子回路
 応募資格 40 歳以下で博士の学位を有する方

[経営工学科]

募集人員 (1)教授 1 名, (2), (3), (4)助教授または講師 1 名
 専門分野 (1)生産工学または生産システム, (2)経営管理または会計情報, (3)ヒューマンシステムまたは認知科学, (4)経営情報システムまたは情報工学
 応募資格 (1)55 歳位までの博士の学位を有する方で上記の分野で業績を有する方, (2), (3), (4)35 歳位までの博士の学位を有する方で上記の分野で業績を有する方
 応募締切 平成 7 年 7 月 14 日
 着任時期 平成 8 年 4 月 1 日
 送付先/照会先 〒535 大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学 庶務課 Tel.(06)954-4097

●日本原子力研究所計算科学技術推進センター

募集人員 研究系職員 3 名
 研究分野 (1)基本ソフトウェア関連: UNIX などの OS, FORTRAN コンパイラ, または並列処理用デバッガの開発経験ないしは豊富な利用経験を有し, ユーザサイドから基本ソフトウェアの研究開発を志す方 (2 名).
 (2)並列計算法関連: 並列計算に興味あるいは経験を有し, 並列計算法の研究開発を志す方 (1 名)
 所属 並列処理基本システム開発グループ (2 名), 並列計算法開発グループ (1 名)
 勤務地 東京都文京区本駒込 日本原子力研究所 計算科学技術推進センター内
 応募資格 大学理工系修士以上の学歴を有し, 当研究所の採用試験を受けたことのない方
 提出書類 履歴書, 研究経歴書, 研究業績リスト及び主要論文の別刷
 応募締切 平成 7 年 8 月 1 日
 着任時期 平成 7 年 10 月 1 日以降
 送付先 〒100 千代田区内幸町 2-2-2 日本原子力研究所 人事部人事課
 Tel.(03)3592-2175,2176
 照会先 計算科学技術推進センター (研究に関する問合せ)
 Tel.(03)3942-4200 Fax.(03)3942-4216

●九州工業大学情報工学部

募集人員 助教授 1 名
所 属 情報工学部一般教育等（数学）、学内組織上は制御システム工学科情報数学大講座に所属
担当科目 自然科学科目（解析学、線形代数学等）、教職科目（代数学概論、幾何学概論等）、制御システム工学科の対象分野科目（離散構造論）、情報工学研究科の大学院科目（離散数学特論）
専門分野 数学または情報科学
応募資格 博士の学位を有するかまたは平成 8 年 4 月 1 日までに取得見込みの 35 歳以下の方。数学の基礎科目を担当でき、数学の基礎教育並びに情報基礎教育に積極的に取り組む意欲を持った方。制御システム工学科情報数学大講座の助教授として、制御システム工学科の対象分野科目、卒論及び大学院での教育、研究を担当できる方。
着任時期 平成 8 年 4 月 1 日までに着任できること
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、これまでの研究概要と今後の研究計画（800 字程度）、主要論文要旨（各 200 字程度、共著の場合は担当部分を明記）、推薦書または応募者についての照会先の氏名とその連絡先
応募締切 平成 7 年 8 月 18 日
送付先／照会先 〒 820 飯塚市大字川津 680-4 九州工業大学情報工学部制御システム工学科 教授 岡崎悦明
Tel.(0948)29-7710 Fax.(0948)29-7709 「教官選考応募書類在中」と朱書き書留

●上越教育大学

募集人員 助教授または講師 1 名
所 属 情報処理センター及び生活・健康系教育講座（技術）
専門分野 情報工学
応募資格 博士号取得者（含、見込）
着任時期 平成 8 年 2 月 1 日
提出書類 履歴書、業績目録等（用紙と公募要項を本大学人事係までご請求ください）、論文別刷、卒業・修了証明書
応募締切 平成 7 年 8 月 25 日
送付先 〒 943 上越市山屋敷町 1 番地 上越教育大学総務部庶務課 人事係（書留）
照会先 技術科主任 石田文彦 Tel.(0255)22-2411 (ext.402)
情報処理センター長 川島章弘 Tel.(0255)22-2411 (ext.405) Fax.(0255)22-2500
e-mail:kawasima@juen.ac.jp

●広島大学工学部第二類電子物性（大）講座

募集人員 助教授 1 名
所 属 電子物性（大）講座 デバイスシステム教育科目
専門分野 LSI アーキテクチャ・設計法、先端半導体デバイスの設計・解析など
応募資格 博士の学位を有し、40 歳以下、広範な技術を融合した新しい分野の開拓に挑戦する意欲のある方
着任時期 決定後なるべく早い時期
提出書類 履歴書、業績リスト（論文、著書等）、業績の概要（約 2000 字）、今後の研究計画（約 2000 字）
応募締切 平成 7 年 9 月 30 日必着
送付先／照会先 〒 739 東広島市鏡山 1-4-1 広島大学工学部第二類電子物性大講座 伊澤義雅
Tel.(0824)24-7654 Fax.(0824)22-7195 「電子物性講座助教授公募書類在中」と朱書き書留

▶岐阜大学工学部電子情報工学科情報コース

- 募集人員** 助教授 1 名
- 所属** 工学部電子情報工学科情報コース「知識工学」大講座
- 専門分野** 情報工学・情報科学分野，例えば計算機ネットワークシステム，並列処理システム，人工知能・知識工学，自然言語システム，画像システム，音声システム，生体情報システム（ニューロコンピュータを含む），医療情報工学，バーチャルリアリティ，CAD／CAM，ロボット，曖昧システム（ファジィ・コンピュータを含む），情報数理，データ解析，知的 CAI，情報機器（VLSI を含む）などのいずれかに関する基礎，あるいは応用分野
- 担当科目** 電子・情報工学関連科目の講義及び演習
- 応募資格** (1)博士の学位を有し，大学院博士後期課程の指導ができる方，(2)平成 8 年 4 月 1 日までのできるだけ早い時期に着任可能な方
- 応募締切** 平成 7 年 9 月 30 日
- 提出書類** 履歴書，業績一覧表（論文，著書，開発システム，特許など），主要論文別刷，健康診断書，応募者本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先
- 付先／照会先** 〒 501-11 岐阜市柳戸 1 番 1 岐阜大学工学部電子情報工学科情報コース主任 田中嘉津夫
Tel.(058)293-2741 e-mail:tanaka@info.gifu-u.ac.jp
「情報コース教官応募書類在中」と朱書き書留
- 備考** (1)電子情報工学科情報コースは，「情報基礎」，「知識工学」及び「応用情報」の 3 大講座から構成されている。(2)締切日以前に適任者が得られ次第，選考を開始する場合があります。

▶湘南工科大学情報工学科

- 募集人員** 教授 1 名
- 専門分野** 計算機工学（ハードウェアまたはソフトウェア）
- 担当科目** 計算機関連科目，情報工学実験，情報工学演習，その他関連科目
- 応募資格** 60 歳前後までの方で，博士の学位を有し，私立大学における研究・教育に熱意を有する方および大学院の指導ができる方。
- 着任時期** 平成 8 年 4 月 1 日
- 提出書類** 履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，今後の研究計画書及び教育に対する抱負，推薦状または本人の業績等をよく知っている方 2 名の氏名と連絡先
- 応募締切** 平成 7 年 9 月 30 日
- 付先／照会先** 〒 251 藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 湘南工科大学事務局庶務課 「情報工学科教員応募書類」と朱書き書留
庶務課長または情報工学科 学科長 杉山 宏 Tel.(0466)34-4111

▶神奈川工科大学情報工学科

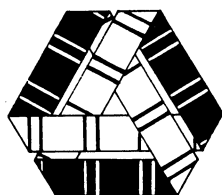
- 募集人員** 教授 1 名
- 専門分野** 計算機ハードウェアが研究分野で，デジタル回路，論理設計，計算機アーキテクチャの科目を担当できる方
- 応募資格** 博士号を有し，60 歳から 65 歳までの方
- 着任時期** 平成 8 年 4 月 1 日
- 提出書類** 履歴書，研究業績リスト，論文別刷各 1 部
- 応募締切** 平成 7 年 9 月 30 日
- 付先／照会先** 〒 243-02 厚木市下荻野 1030
神奈川工科大学情報工学科 赤堀 寛 Tel.(0462)41-1211 Fax.(0462)42-8490

●神奈川工科大学情報工学科

募集人員 教授 1 名
専門分野 知能情報処理が研究分野で、知識工学、アルゴリズム論、データベースの科目を担当できる方
応募資格 博士号を有し、60歳から65歳までの方
着任時期 平成8年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、論文別刷各1部
応募締切 平成7年9月30日
送付先/照会先 〒243-02 厚木市下荻野 1030

神奈川工科大学情報工学科 関 靖夫 Tel.(0462)41-1211 Fax.(0462)42-8490

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手90円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）○：本会主催・共催 ◆：本会協賛

[国際会議]

関数論理型プログラミングに関する富士国際ワークショップ

1. 1995年7月17日（月）～19日（水） 2. 富士教育研修所（裾野市） 3. ソフトウェア科学会 武市正人（東大）
Tel.(03)5689-0962 e-mail:takeichi@u-tokyo.ac.jp http://www.ipl.t.u-tokyo.ac.jp/cfp/fuji95.html

Third International Conference on Document Analysis and Recognition(ICDAR'95)

1. 1995年8月14日（月）～16日（水） 2. The Queen Elizabeth Hotel, Montreal, Canada
3. 信州大工学部 中野康明 Tel.(0262)26-4101 Fax.(0262)23-1026

◇ 第7回「知能ロボットコンテストJAPAN'95」(006)

1. 1995年9月30日（土）～10月1日（日） 2. 仙台国際センター 3. 第7回知能ロボットコンテスト実行委員会
東北大工学部 中野栄二 Tel.(022)217-7022

5th European Conference on Software Quality

1. 1996年9月16日（月）～19日（木） 2. Trinity College, Dublin, Ireland 3. 日本科学技術連盟第2事業部 三田, 中島
Tel.(03)5379-1222

[国内会議]

◇ SICEセミナー-フィールドバス-(0014)

1. 平成7年7月13日（木） 2. 東大山上会館（東京都文京区） 3. （社）計測自動制御学会 Tel.(03)3814-4121

◇ SICEセミナー-ロボット情報処理の最新技術動向-(0015)

1. 平成7年8月29日（火） 2. 東工大百年記念館（東京都目黒区） 3. （社）計測自動制御学会 Tel.(03)3814-4121

◇ 平成7年度第3期教育講座「マシンビジョンの基礎と応用」(0013)

1. 平成7年10月2日（月）～6日（金） 2. 3. （財）神奈川科学技術アカデミー（川崎市高津区）
Tel.(044)819-2033 Fax.(044)819-2026

◇ 平成7年度第3期教育講座「事業計画・研究開発リーダーのための知的財産（基礎・権利活用編）」(0013)

1. 平成7年10月12日（木）～14日（土）（基礎），11月9日（木）～11日（土）（権利活用） 2. 3. （財）神奈川科学技術アカデミー（川崎市高津区）
Tel.(044)819-2033 Fax.(044)819-2026

日本神経回路学会第6回全国大会（JNNS'95 仙台）

1. 平成7年10月18日（水）～20日（金）
2. 東北大学医学部長陵会館（仙台市青葉区）
3. 事務局 東北大工学部 二見亮弘
Tel.(022)217-7143 Fax.(022)263-9313 e-mail:futami@ecei.tohoku.ac.jp

第20回「画像工学コンファレンス」

1. 平成7年12月6日（水）～8日（金） 2. ABC会館ホール（東京都港区） 3. 第20回画像工学コンファレンス実行委員会
Tel.(03)3433-2543 Fax.(03)3433-3904

情報処理学会機関誌原稿執筆案内

*1984年12月改訂
1986年12月改訂
1988年3月改訂
1990年3月改訂
1991年3月改訂
1992年9月改訂
1994年4月改訂
1995年5月改訂

本学会は学会誌「情報処理」、論文誌「情報処理学会論文誌」の2種類の機関誌を発行している。学会誌「情報処理」は新しい技術動向をはじめとする種々の情報を掲載し、会員の知識の向上をはかるものであり、論文誌は会員の研究発表の場である。

本案内は学会機関誌の原稿執筆要領をまとめたものである。執筆上の手引きとして利用していただきたい。

1. 学会誌「情報処理」原稿執筆案内

1.1 学会誌の目的

学会誌「情報処理」は

- (1) 会員の知識の向上に資すること、
- (2) 本学会の活動を報告し、会員各位の学会活動への参画意識を高めること、
- (3) 会員の意見発表、討論、情報交換の場を提供すること、
- (4) 学会の行事、ニュース、各種情報の要約等を提供すること、

- を目的としている。
- とくに、(1)の目的のために、次の方針で編集を行う。
- (a) 学会誌としてのレベル、および客観性を保ちながら、思い切り読みやすく分かりやすい記述を追求する。
 - (b) 先進的分野、または特定分野の横断的な解説記事を企画し、対象となる読者層を明らかにして編集を行う。
 - (c) 会員に興味のある時宜にあったテーマをよりタイムリーに掲載する。

1.2 記事種目

学会誌「情報処理」には前項の目的を達成するため、第2表に示す記事種目を設けている。

記事種目には、学会誌編集委員会が依頼する依頼記事と1.2.2項に掲げた投稿記事がある。

1.2.1 依頼記事

- (1) 学会誌編集委員会が依頼原稿の種目ごとに標題などを決定し執筆を依頼する。依頼ページ数はそのとき指定する。
- (2) 執筆構想(執筆内容案)ができた段階で著者と協議することがある。
- (3) 依頼原稿の体裁と書き方は、1.3項を参考とした書き方とする。
- (4) 依頼原稿は学会誌編集委員会で閲読し、著者に照会、修正を依頼する場合がある。

1.2.2 投稿記事

学会誌掲載記事に対する意見、取り上げるべきテーマ

の提案または学会員に関心があると思われる行事、技術の報告など会員各位の積極的な投稿をお願いする。

- (1) 投稿、提案者は原則として本学会会員に限る。
- (2) 投稿、提案の種目(第1表参照)を明記すること。提案の場合は提案の趣旨を書き添えること、執筆候補者を付記してもよい。
- (3) 投稿する原稿の体裁と書き方は、1.3項を参考とした書き方とする。ただし、梗概は不要である。
- (4) 投稿原稿は学会誌編集委員会で査読し、著者に照会、修正を依頼する場合がある。
- (5) 投稿、提案内容の採否については学会誌編集委員会が判断する。

1.3 原稿の体裁と書き方

印字原稿および手書き原稿は、次の(1)～(9)の順に整える。各番号別に必ず別用紙とすること。(1)～(9)でオリジナル原稿一式とする。なお、原稿の作成は22字/行にて作成する。

- (1) 標 題:できるだけ簡潔に、かつ内容がよくわかるように決め、日英両文で書く。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- (2) 著者名・所属:氏名、所属を日英両文で書く。所属は、大学・学部・学科のように3項目で表記する。また、会員・非会員の別、著者連絡先(住所、電話番号、Fax、e-mail等。複数著者の場合は連絡担当者に*印を付すこと)を用紙の下部に明記すること。
- (3) 本 文:不必要に長い記述を避け、要点を簡潔に伝えるように書くことが望ましい。結果を示す数式には文章による解釈を付記した方が読者には理解しやすい。以下に注意事項を記す。
 - 1) 大見出しは2行どりとする。
 - 2) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字、上つき・下つきの別、×(かける)とX(エックス)の別など。
 - 3) 句読点は“.”および“,”を用い、それぞれ1画(1字分)を用いる。

- 4) 数式は印刷に便利なよう注意する。文中に式を挿入する場合には a/b , $\exp(t/r)$ のような記法を用いる。独立した数式は 1 行につき 2 行または 3 行のスペースをとって書く。数式も文の一種であるから、原則として末尾に “,” または “.” を付す。ただし、プログラム言語の形式を利用する場合には、この限りではない。
- 5) 本文中、または図・表中の変数は斜体で記載する。
- 6) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
- 7) 脚注は、該当箇所に <脚注 1> <脚注 2> のように < > で囲み、本文の最後にまとめて記述する。
- 8) 文中の記号で太字を使用の場合は、その記号の下に ~ を朱書し、イタリック (斜体) 使用の場合はその文字の下に朱書で - と指定する。
- 9) 専門用語については、簡単な用語説明を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。
- 10) 用語は原則として「文部省学術用語集」および「情報処理ハンドブック」を参考とする。
- (4) 謝辞：謝辞もできるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- (5) 参考文献：内容に直接関係のある重要な参考文献には必ず言及すること。以下に選択のためのガイドラインを示す。1) から順に選択することとし、必要なものに止めること (特に必要なものを除いて 10 編程度)。
- 1) 本文を執筆する上で直接に参照および引用した文献
 - 2) 本文内で直接に参照した事項に関する文献
 - 3) 読者が直接的に、あるいは執筆者などを通して間接的に入手できる文献
 - 4) 内容の信頼性を保ち、それがその分野などで公知である文献
 - 5) 読者が本文の内容をより理解するために手助けとなる文献
- これら文献に関連のある本文中の箇所には、[1] [2] のように [] で参考文献番号を挟み、末尾にその文献を参照順にまとめて記述する。
- また、参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年をこの順に記す。
- [例]
- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10(1960).
 - 2) Feldman, J. and Gries, D. : Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp. 77-113(1968).
単行本の場合には、著者、書名、総ページ数、(必要ならば) ページ、発行所、発行年を、この順に記す。
[例]
 - 3) 大山一夫：電子計算機，300 p., 情報出版，東京 (1991).
 - 4) Wilkes, M. V. : Time Sharing Computer Systems, 200p., McDonald, NewYork (1990).
- (6) 付録：長い数式の誘導の過程や、実験装置、計算機についての説明などの詳細が必要な場合、これを本文中に挿入すると論旨が不明瞭になるので、付録にする方がよい。
- (7) 図 (モノクロ写真およびカラー写真を含む)：図 - 1 のような通し番号と名称を和文または英文でつける。刷上り寸法は横幅 70 mm または 150 mm とし、高さは最大 217 mm とする。刷上り寸法の 2 ~ 3 倍大にきれいに書き、文字、記号などは印刷時に縮小されることを考慮して大きめに書くこと。図は本学会でトレースする場合があるので、鉛筆書きでもよいが、トレースしにくい図は避けること。
- (8) 表：表 - 1 のような通し番号と名称を和文または英文でつける。刷上り寸法は横幅 70mm または 150mm とし、高さは最大 217 mm とする。刷上り寸法の 2 ~ 3 倍大にきれいに書き、文字、記号などは明瞭に記入する。
- なお、図・表の希望位置は印字原稿または原稿用紙上に赤字で指示すること。紙面の都合上希望どおりにいかない場合もある。また、カラーの写真・図などは経費の関係上同一ページにまとめる。
- (9) 著者紹介：解説・講座・報告・展望・論説・講演・談話室・海外だより・寄書・書評については「著者紹介」を掲載するので、著者 1 人について約 300 字の紹介文 (生年 (西暦)、卒業、学位、勤務先、主たる研究テーマ、著訳書、他学会会員など) と顔写真を添付すること。

1.4 原稿の提出

1.4.1 原稿の提出方法

原稿の提出にあたっては次の 3 方法から選択する。

- (1) 3.5 インチフロッピディスクによる提出
- 1.3 項による印字原稿と、そのプレーンテキストが入った MS-DOS または Macintosh で作成されたテキスト形式の 3.5 インチフロッピディスクを併せて提出する。その際、使用したハードウェアをラベルに明

第1表 学会誌別刷価格表 (単位:円)

ページ 部数	1~4	5~6	7~8	9~10	11~12	13~14	15~16	17~18	表紙不要 の場合
100	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000	13,000	-1,100

記すること（フロッピは希望がない限り返却しない）。

ただし、MS-DOS の場合は

- 1) 文字コードは JIS コードまたはシフト JIS とする。
- 2) 3.5 インチフロッピディスクの媒体は、以下のとおりとする。

- a) IBM-PC 類：2DD（720KB）あるいは 2HD（1.44MB）のいずれでも可。
- b) NEC-PC 類：2DD（640KB）あるいは 2HD（1.2MB）

- (2) e-mail（インターネット）による提出

1.3 項による印字原稿を提出するとともに、そのプレーンテキストを e-mail にて提出する。e-mail で提出するテキストは JIS コードとする。

- (3) 手書原稿による提出

本学会所定の原稿用紙に記述して提出する。ただし、依頼原稿の場合は本学会事務局に請求し、投稿原稿の場合はこれを購入する。

1.4.2 原稿の送付先

原稿用紙の購入先、原稿、提案の送付先、および問合せ

先は次のとおりである。

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20

芝浦前川ビル 7F

(社) 情報処理学会 学会誌編集係

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

e-mail:editj@ipsj.or.jp

1.5 その他

- (1) コピー：郵送中の紛失事故対策や照会の便宜などのため、原稿のコピーは必ず手元にとっておくこと。
- (2) 正誤：著者から正誤の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する。
- (3) 別刷：依頼原稿の著者は原稿校正時に別刷を注文することができる。投稿原稿の著者は掲載時に別刷 100 部を購入していただく。別刷料金は第 1 表のとおり。カラー掲載の場合は実費をいただく。
- (4) 原稿料：依頼原稿の原稿料は別途定める。
- (5) 図・写真などを引用する場合は、その所有者に必ず了解を得た上で、その出典を明記すること。

第2表 学会誌「情報処理」の記事種目

<記事掲載順による>

記事種目	内 容	依頼 記事	投稿 記事	刷上 標準 頁	総字数*
(1) 巻頭言	本学会の会長や理事などの抱負、所感	○		1	1,936
(2) 特別論説 「情報処理最前線」	学会、産業界における最近のホットな話題をやさしく解説したもの	○		6	11,616
(3) 解説	新しい技術の動向などについて一般の会員を対象として平易に解説したもの	○		6	11,616
(4) 展望	新しい理論、技術などの展望を比較的専門の立場から論説したもの	○		6	11,616
(5) 講座	定説となっている基礎的な問題について平易に系統的に解説したもの	○		6	11,616
(6) 論説	社会的な視野からみた情報処理に関する論説や主張		○	4	7,744
(7) 寄書	情報処理に関する理論、技術、動向など会員が関心をもつ事項の論説や主張		○	4	7,744
(8) 報告	総合的なプロジェクトや国内外の会議、活動状況の報告	○	○	6	11,616
(9) 講演	本学会が主催した講演の要旨	○		6	11,616
(10) 座談会	学会誌編集委員会が企画した座談会の要約	○		6	11,616
(11) 会員の声	本学会および学会誌に対する会員からの意見		○	0.5	968
(12) 談話室	経験談、提案、批判、誌上討論など		○	2~4	3,872
(13) 研究室紹介	大学、研究所などの研究活動の紹介		○	3	~7,744
(14) 事例	具体的システム事例の紹介、情報戦略に関するトップインタビュー	○		5	5,808
(14) 書評	図書の紹介および批評	○		1	1,936
(15) ニュース	ニュース	○		0.5	968
(16) 図書寄贈一覧		○	○	0.5	968
(17) 論文誌 アブストラクト	論文誌に掲載された論文、ショートノートの和文または英文アブストラクト	○		0.3	581
(18) 本会記事	理事会、各種委員会の報告など				
(19) 会告	学会からのお知らせ、行事案内、会議案内、教官募集など				

*タイトル、図表などすべてを含めた字数（タイトル・著者名で 374 字とする。）

2. 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内

2.1 論文誌発行の目的

論文誌は会員の研究成果の発表およびこれに関連する討論の場を提供するために刊行される。

2.2 論文誌の掲載記事

- (1) 論文誌の記事は会員が自発的に執筆し投稿するもので、論文、テクニカルノートおよび誌上討論の3種類がある。

論文

学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。

テクニカルノート

新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。

誌上討論

掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。

- (2) 学術雑誌に投稿中または採択された論文と内容が同一の投稿原稿は採録しない。ただし、本論文誌に採択されたテクニカルノートをもとに発展、充実させたものはその限りではない。
- (3) 投稿者は原則として本学会会員に限る。寄稿者が連名の場合は、少なくとも1名は本学会会員でなければならない。
- (4) 掲載記事の内容についての最終責任は著者が負うものとする。

2.3 投稿手続

- (1) 投稿原稿は日本語あるいは英語で、第1表に示す刷上標準ページ数に収まるように記述することが望ましい。
- (2) 投稿原稿の形式は、2.6記載の「論文投稿形式」に従わなければならない。ただし、誌上討論に関しては形式は自由とする。
- (3) 投稿原稿に対し学会は、受付日と受付番号を付した原稿受領書を発行する。投稿原稿の問合せなどは、以後、この受付番号で行うものとする。
- (4) 原稿の送付先および問合せ先は下記の学会事務局とする。

〒108 東京都港区芝浦3-16-20
芝浦前川ビル7F
(社)情報処理学会 論文誌係

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

2.4 投稿原稿の取扱い

- (1) 論文誌への掲載は論文誌編集委員会で決定し、その採否を投稿者に通知する。
- (2) 論文とテクニカルノートは、査読委員による審査過程を経る。論文の場合、著者に照会し回答を求めたうえで、改めて審査を行い採否を決定することがある。
- (3) 採録が決定した論文、テクニカルノートは、委員会翌月の学会誌上にその旨を発表する。また、論文誌に掲載する際には、末尾に、原稿受付日及び採録決定日を付記する。
- (4) 照会は、部分的に論旨が不明な点、あるいは、錯誤と思われる箇所についての問合せを主眼として行う。照会は原則として1回とする。照会への回答は書面で行う。場合によっては質問事項に関連して原稿に手を加えることができる。この場合、変更箇所と変更理由を明示しなければならない。回答期限は3カ月以内で、これを経過した場合は、取り下げたものとみなす。
- (5) 不採録と決定した原稿は、不採録理由を付して著者に返却する。
- (6) 投稿論文およびテクニカルノートは、次の場合に不採録とする。
- 既発表または周知のものから容易に類推される内容である。
 - 内容が不十分で、読者の参考にならないと考えられる。
 - 本質的な誤り、または、客観的に認知できない記述がある。
 - 文章表現や構成において問題があり、軽微の修正で改善の見込みがない。あるいは、内容に比べて著しく冗長である。
 - 本学会と関連性が薄い分野の論文である。
- (7) 著者は投稿原稿を取り下げることができる。この場合、書面で論文誌編集委員会に申し出なければならない。

2.5 掲載決定通知、別刷等

- (1) 投稿原稿の採録が決まると、採録決定通知を投稿者に送付する。この時点で、電子入稿のための案内を同封するので、その指示に従い、最終原稿を提出すること。
- (2) 採録原稿の掲載号が決まると、掲載決定通知を投稿

第1表 論文誌の投稿記事種目

種目	内容	刷上標準ページ数	ワープロによる和文記事原稿枚数	英文記事語数
(1) 論文	学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。	8	24	6,000
(2) テクニカルノート	新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。	2*	6	1,500
(3) 誌上討論	掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。	1	3	750

原稿枚数、語数はタイトルや図表などすべてを含めた数値
ワープロの場合の原稿用紙(24字×26行=624字)
英文記事は刷上1ページあたり約750語

*上限4P

第2表 論文誌別刷価格表 (単位:円)

部数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
100	11,000	22,000	33,000	44,000	55,000	66,000	86,000	106,000	136,000
200	12,000	23,000	34,000	45,000	56,500	67,500	87,500	107,500	137,500
300	13,000	24,000	35,000	46,000	58,000	69,000	89,500	109,500	139,500
400	14,000	25,000	36,000	47,000	59,500	70,500	91,500	111,500	141,500
500	15,000	26,000	37,000	48,000	61,000	72,000	93,500	113,500	143,500

なお、8ページを越えるときは100部の場合で、1ページにつき30,000円加算する。カラーの場合は1ページあたり通常の4ページ分と換算する。

者に送付する。

- (3) 学会は誤植防止のために著者に校正刷りを送る。校正の際の原稿及び図面の変更は認めない。
- (4) 著者から誤謬訂正の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する。事情により有料となることがある。
- (5) 掲載された論文、テクニカルノートの著者は、それらの別刷を100部以上買いとらなければならない。価格は第2表による。著者校正の際、同封の別刷申込書に必要事項を記入の上、校正結果とともに返送しなければならない。
- (6) 提出された原稿および媒体は返却しない。

2.6 論文投稿形式

2.6.1 投稿原稿の構成

論文誌への投稿原稿は、次の①～⑩により構成する。
(①～⑩でオリジナル原稿一式とする)

- ① 標 題：和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- ② 著者名・所属：氏名、所属を和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。共著の場合、著者と所属機関の対応を明示すること。また、会員・非会員の別(会員の場合は会員番号も)、著者連絡先(住所、電話番号(内線)、e-mail等。複数著者の場合は連絡担当者に*印を付すこと)、ワープロ等の場合論文作成手段(機種およびソフト名)を用紙の下部に明記すること。(2.6.2 参照)
- ③ 和文アブストラクト：600字(テクニカルノートは300字)以内。英文論文の場合は不要。
- ④ 英文アブストラクト：200語(テクニカルノートは100語)以内。
- ⑤ 本 文：
- ⑥ 謝 辞：必要ならば付けてもよいが、できるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- ⑦参考文献：研究内容に関連して文献を引用する場合、関連する本文中の箇所の右肩に参考文献番号を書き、末尾にその文献をまとめて記述する(2.6.4 参照)。引用文献は、すでに刊行物に掲載されているか、あるいは掲載が確定している文献に限る。
- ⑧付録：長い数式の誘導の過程や、実験装置などの詳細な説明を本文中に挿入すると論旨が不明瞭になる場合、付録を設けてよい。

⑨ 図 (2.6.4 参照)

⑩ 表 (2.6.4 参照)

2.6.2 投稿原稿の様式

情報処理学会論文誌投稿用のスタイルファイル(以下、単にスタイルファイルという)に従ってLaTeXで書式付けされた原稿を基本とする。その他のワープロ等で作成した原稿も受け付ける。

① LaTeXで作成する場合には、スタイルファイルに付属した説明書に従って①～⑩を記述し、注意事項を守る。使用できるフォントや組み込むことのできるポストスクリプトファイル(図表等)の形式には制限がある。注意事項が守られていない場合には処理ができずやむを得ず返却することがある。

スタイルファイルの請求方法は anonymous ftp によって、ftp://ftp.ipsj.or.jp または電子メール guide@ipsj.or.jp にて案内されている。インターネットにアクセスすることができない場合は学会に問い合わせること。

② 原稿をワープロ等で作成する場合は、A4判またはレターサイズ(8.5"×11")の用紙を使用し、片面打ちとする。字詰は以下にすること。

和文：24字×26行

英文：ダブルスペースで、1ページあたり約250語。

大見出しは2行どりとする。

①～⑩は別用紙に、必ず用紙を改めて記述すること。

2.6.3 投稿原稿の提出形式

原稿を投稿する際は、次の(A)～(D)を必要とする。不足がある場合は受け付けない。

- (A) 紙出力の原稿(オリジナル)一式(①～⑩)
- (B) キーワード・チェックリスト：情報処理学会所定のもの(7～11頁または11～15頁をコピーして利用のこと)。
- (C) (A)のコピー3部(ただし査読用として、②著者名・所属および⑥謝辞を除いたもの。)(LaTeXのときは①, ②, ③④, ⑤⑦⑧⑨⑩, ⑥がそれぞれ別々に出力される。)
- (D) ①標題, ②著者名・所属, ③和文アブストラクト, ④英文アブストラクト, ⑥謝辞, (B) キーワード・チェックリストのそれぞれのコピー1部。

2.6.4 原稿執筆上の一般的な注意事項

- (1) 専門用語については、簡単な用語解説を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず

説明をつける。

- (2) 参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順にする。次の例を参照にされたい。
- 4) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6～10 (1960)。
- 5) Feldman, J. and Gries, D.: Translater Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113 (1968)。
- 7) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京 (1991)。
- 8) Wilkes, M.V.: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York (1990)。
- (3) 図 (モノクロ写真およびカラー写真を含む) および表には、図1および表1のような通し番号と名称を和文と英文でつける。ただし、英文論文の場合は和文はなくても良い。英文はその図や表の内容が本文を参照しなくても理解できるよう配慮する。

LaTeXによる場合、図表は、ポストスクリプトファイル等を組み込むことも可能。組み込むファイルの形式はスタイルファイルの説明を参照のこと。

紙に描いた図表原稿を提出する場合には、図・表は著者の提出したものを、そのまま印刷するので、下記要領により、黒インキでトレースするか、あるいは同等の画質があるものを提出すること。①刷上り寸法の2倍大にきれいに書き、文字、記号などは明瞭に記入する。②図・表を入れる場所は、原稿用紙の欄外に明記すること。③表はできる限り簡潔に作成し、長い表は、途中を省略するか、あるいは、直接製版できる原稿にする。④図・表原本には、裏面に鉛筆で著者名と図番を記入すること。

図・表のでき上り寸法と行数または枚数の換算は次のとおりである。

寸法 (mm)	ワープロ原稿の場合の行数 (24字×26行)
A. 50×34	6行
B. 67×50	13行
C. 100×67	26行
D. 134×100	39行

- (4) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字、上つき、下つきの別、× (かける) と X (エックス) の別など。
- (5) 句読点は“.” および“,” を用い、それぞれ1画 (1字分) を用いる。
- (6) 数式は印刷に便利よう注意する。文中に式を挿入する場合には a/b , $\exp(t/r)$ のような記法を用いる。独立した数式は1行につき原稿用紙の2行または3行のスペースを取って書く。数式も文の一種であるから、原則として末尾に“.” または“.” を付す。ただし、プログラム言語の形式を利用する場合には、この限りではない。
- (7) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
- (8) 原稿中にあとから文章、文字などを挿入する時は、挿入する文章や文字を欄外に明瞭にするし、かつ挿入する箇所を、 \vee または \wedge (朱書) で示す。
- (9) 脚注は、☆, ☆☆, ☆☆☆などの記号で示し、本文中そのすぐ下に横線ではさんで記入し、脚注と朱書する。
- (10) 文中の記号で太字を使用の場合は、その記号の下に～を朱書し、イタリック体 (斜体) 使用の場合はその文字の下に朱書で—と指定する。

LaTeXで使用できるフォントの種類はスタイルの説明を参照すること。それ以外のフォントを使用したときには、予期しないできあがりとなることがある。

3. 機関誌に掲載された論文等の著作権

3.1 著作権の帰属

- (1) 機関誌に掲載された論文等 (以下論文等という) の著作権は原則として本学会に帰属する。
- (2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議のうえ措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。
 - ・依頼論文等であって、その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので、著作権の本学会への移転帰属に関し当該法人等の了解が得られない場合。
 - ・特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

3.2 著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等

- (1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが、著作者人格権は著者に帰属する。ただし、著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し、本学会はこれに異議申立て、もしくは妨げることをしない。この場合著者は本学会に申し出を行い、また利用された複製物あるいは著作物中に出版を明記すること。

- (2) 本学会は論文等の複製を行うことができる。ただしこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合、本学会理事会において審議し、適当と認められたものについて要望に応ずることができる。ただしこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (4) 前項の措置によって、第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告のうえ、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

3.3 著作権侵害等に関する注意事項

- (1) 執筆に当たっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

キーワード (論文誌投稿用)

[寄稿者用]

(1) あなたが寄稿する原稿の内容に最も関係の深い項目 (1つ) に◎印, 関係する項目 (複数個も可) に○印を付けてください。

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
001 基礎理論と基礎技術	01 情報数学	01 形式論理, 02 オートマトン理論, 03 言語理論, 04 計算可能性の理論, 05 計算の複雑さ, 06 グラフ理論, 07 組合せ理論, 08 符号理論, 09 情報理論, 10 ペトリネット, 99 その他()
	02 非線形力学	01 カオス, 02 フラクタル, 99 その他()
	03 アルゴリズム理論	01 離散アルゴリズム, 02 データ構造, 03 並列・分散アルゴリズム, 04 確率アルゴリズム, 05 近似アルゴリズム, 06 計算幾何学, 07 探索アルゴリズム, 08 計算代数学, 09 計算的学習理論, 10 数式処理, 11 浮動小数点処理, 99 その他()
	04 オペレーションズリサーチ	01 線形・非線形計画法, 02 動的計画法, 03 整数計画法, 04 ゲーム理論, 05 待ち行列理論, 06 ネットワーク理論, 99 その他()
	05 確率・統計	01 推定・検定, 02 確率モデル, 03 統計・確率計算, 04 多変量解析, 05 時系列解析, 99 その他()
	06 数値計算	01 誤差解析, 02 関数近似, 03 補間, 04 線形方程式, 05 非線形方程式, 06 固有値問題, 07 数値微分, 08 数値積分, 09 常微分方程式, 10 偏微分方程式, 11 積分方程式, 12 極値問題, 13 特殊関数, 14 乱数, 99 その他()
	07 数値シミュレーション	01 有限要素法, 02 差分法, 03 境界要素法, 04 モンテカルロ法, 05 粒子シミュレーション, 06 可視化, 99 その他()
	08 高性能計算	01 並列化, 02 ベクトル化, 03 性能評価, 99 その他()
002 人工知能と認知科学	01 知識処理	01 探索, 02 定理自動証明, 03 推論方式, 04 知識表現, 05 知識獲得, 06 知識ベース, 07 非単調論理, 08 ファジィ推論, 09 不確実性処理, 10 学習, 11 理解・識別論, 12 分散・協調AI, 99 その他()
	02 人工知能システム	01 エキスパートシステム, 02 エキスパートシステム構築ツール, 03 ゲームプログラム, 04 知能ロボット, 05 知的インタフェース, 99 その他()
	03 自然言語処理	01 機械翻訳, 02 形態素解析, 03 構文解析, 04 意味解析, 05 文生成, 06 談話理解, 07 文法, 08 辞書, 09 言語理論, 10 言語行動, 11 言語資料・統計, 12 言語データベース, 14 文脈解析, 15 知識表現, 99 その他()
	04 生体情報処理	01 視覚, 02 聴覚, 03 神経モデル, 04 サイバネティクス, 05 自己組織化, 06 ニューラルネット, 07 遺伝的アルゴリズム, 08 人工生命, 99 その他()
	05 感性情報処理	01 心理モデル, 02 行動モデル, 03 感情モデル, 04 ヒューマンインタフェース, 05 映像, 06 音楽, 99 その他()
003 メディア情報処理	01 音声言語情報処理	01 音声分析・加工, 02 音声インタフェース, 03 音声認識・理解, 04 音声合成・テキスト音声変換, 05 音声対話・翻訳, 06 話し言葉の解析・生成, 07 話者・言語識別, 08 言語モデル・音声言語コーパス, 09 音声応用, 99 その他()
	02 画像信号処理	01 画質改善, 02 帯域圧縮, 03 符号化, 04 リモートセンシング, 99 その他()
	03 画像・図形認識	01 画像理解, 02 物体認識, 03 文字認識, 04 パターン認識, 05 図面認識, 06 コンピュータビジョン, 07 ロボットビジョン, 08 視覚モデル, 09 3次元形状復元, 10 3次元画像処理, 11 色彩画像処理, 12 画像データベース, 13 ステレオ画像解析, 14 動画画像処理, 99 その他()
	04 コンピュータグラフィクス	01 CGシステム, 02 CAD/CAM, 03 形状モデリング, 04 レンダリング, 05 可視化, 06 アニメーション, 07 モーション, 08 ステレオ表示, 09 仮想現実感, 10 デザイン, 11 画像データベース, 99 その他()

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
003 メディア 情報処理	05 テキスト処理	01 ワードプロセッシング, 02 日本語入出力, 03 文書処理, 04 卓上出版, 05 フォントデザイン, 06 SGML, 07 パターン照合アルゴリズム, 99 その他()
	06 メディア 処理装置	01 ディスプレイ装置, 02 ハードコピー装置, 03 文字読取装置, 04 画像入 出力装置, 05 画像処理プロセッサ, 06 音声入出力装置, 99 その他()
	07 マルチメディア 処理	01 マルチメディア, 02 ハイパメディア, 99 その他()
004 ソフトウエ ア	01 基礎理論	01 プログラム理論, 02 オペレーティングシステム理論, 03 形式的意味論, 04 算法論理, 05 検証理論, 06 カテゴリー理論, 07 属性文法, 08 計算パラダイ ム, 09 プログラム合成・変換, 99 その他()
	02 プログラミング 言語と仕様記述	01 手続き型言語, 02 論理型言語, 03 関数型言語, 04 オブジェクト指向言 語, 05 並列処理言語, 06 システム記述言語, 07 数式処理言語, 08 シミュ レーション言語, 09 仕様記述言語, 10 第四世代言語(4GL), 99 その他()
	03 言語処理系	01 構文解析, 02 コード生成, 03 最適化, 04 コンパイラ, 05 インタプリタ, 99 その他()
	04 ツール	01 エディタ, 02 デバッガ, 03 ベリファイヤ, 04 コンパイラジェネレータ, 99 その他()
	05 ウィンドウ システム	01 ユーザインタフェース管理システム, 99 その他()
	06 オペレーティ ングシステム	01 記憶管理, 02 入出力管理, 03 障害管理, 04 通信管理, 05 ファイル管 理, 06 ジョブ・タスク管理, 07 自動運転管理, 08 並列分散処理, 09 シス テム管理, 10 例外処理, 11 性能評価, 12 リアルタイムOS, 13 マルチメ ディアOS, 14 分散・並列OS, 99 その他()
	07 プログラミング 技術	01 データ構造, 02 ガーベッジコレクション, 03 ハッシング, 04 ソーティ ング, 05 サーチング, 06 ベクトル化, 07 並列化, 08 記号処理, 09 計算の モデル, 10 プログラミング工程, 11 支援環境, 12 プログラミングパラダイ ム, 13 ビジュアルプログラミング, 99 その他()
005 データベー ス	01 データベース	01 データモデル, 02 データベース言語・DBPL, 03 データベース設計, 04 一貫性制約, 05 データベース管理システム, 06 質問処理, 07 トランザ クション管理, 08 DB構成(編成・アクセス法), 09 信頼性・障害管理, 10 並列・超並列DB, 11 OLTP, 12 分散・マルチDB, 13 データベースOS, 14 性能評価, 15 マルチメディアDB, 16 演繹DB, 17 オブジェクト指向 DB, 18 オフィスDB, 19 エンジニアリングDB, 20 文書DB, 21 画像DB, 22 音声DB, 23 地理DB, 24 データディクショナリ・リポジトリ, 25 DBア プリケーション(システム, 開発環境), 26 DBシステム技術(データ分析・設 計・構築・運用), 27 ハイパテキスト, 28 ハイパメディア, 29 データベー スマシン, 99 その他()
	02 情報学基礎	01 情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02 概念体系, 03 用語, 04 辞書, 05 シソーラス, 06 大量情報の知識化, 07 知識発見, 08 自己組織化, 09 全文DB, 10 文書DB, 11 情報検索システム, 12 情報資 源管理, 13 遺伝子情報処理, 14 図書館情報学, 99 その他()
006 ソフトウエ ア工学	01 開発技術	01 要求獲得・分析法, 02 仕様記述法, 03 設計法, 04 プログラミング方法 論, 05 プロトタイプリング, 06 実行可能仕様, 07 部品化・再利用技術, 08 ドメイン分析・モデリング, 09 プログラム自動合成, 10 OOA/OOD, 11 代数的仕様, 12 リバースエンジニアリング, 13 構造化分析/設計, 14 ソフトウェアアーキテクチャ, 99 その他()
	02 テスト・保守 ・管理	01 プログラムのテスト・デバッグ, 02 プログラム検証, 03 仕様検証, 04 レビュー/インスペクション, 05 性能評価, 06 プログラム解析, 07 保守運用管理, 08 メトリクス, 09 版管理, 10 構成管理, 11 プロジェク ト管理, 12 見積もり, 13 プログラムの複雑度, 14 リスク管理, 15 コスト 管理, 16 ソフトウェア工場, 99 その他()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
006 ソフトウェア工学	03 ソフトウェアプロセス	01 プロセスモデル, 02 プロセスプログラミング, 03 工程管理, 04 プロセス成熟度モデル, 05 標準化, 99 その他()
	04 開発環境	01 構成法, 02 分散開発環境, 03 文書化支援, 04 リポジトリ, 05 SEDB, 06 グループウェア, 07 CASE, 08 プラットフォーム, 99 その他()
	05 ヒューマンファクタ	01 ヒューマンインタフェース, 02 要員教育, 03 プロジェクト管理, 99 その他()
	06 ソフトウェア品質	01 品質保証, 02 品質管理, 03 メトリクス, 04 信頼性予測, 05 品質特性, 06 信頼度成長モデル, 99 その他()
007 ハードウェア	01 基礎理論	01 組合せ回路理論, 02 順序回路理論, 03 論理設計理論, 04 レイアウトアルゴリズム, 05 ハードウェアアルゴリズム, 99 その他()
	02 論理回路	01 記憶回路, 02 演算回路, 03 制御回路, 04 誤り検出・訂正回路, 05 テスト容易化回路, 99 その他()
	03 デバイス	01 論理デバイス, 02 記憶デバイス, 03 入出力デバイス, 04 ASIC, 05 PLD, 99 その他()
	04 計算機アーキテクチャ	01 汎用計算機, 02 専用計算機, 03 高級言語マシン, 04 スーパーコンピュータ, 05 ワークステーション, 06 マイクロプロセッサ, 07 連想プロセッサ, 08 非ノイマンアーキテクチャ, 09 フォールトトレランス, 10 リアルタイムシステム, 11 DSP, 12 光コンピュータ, 13 記号処理アーキテクチャ, 14 スーパーパスカラ, 15 命令セットアーキテクチャ, 99 その他()
	05 メモリ・I/Oアーキテクチャ	01 キャッシュ, 02 メモリ階層, 03 仮想メモリ, 04 機能メモリ, 05 分散・共有メモリ, 06 ベクトルレジスタ, 07 磁気ディスク, 08 CD-ROM, 09 拡張記憶, 99 その他()
	06 設計技術と設計自動化	01 アーキテクチャ設計支援, 02 ハードウェア/ソフトウェア・コデザイン, 03 設計記述言語, 04 機能合成(ハイレベル・シンセシス) 05 論理合成, 06 レイアウト, 07 テスト診断法(テスト生成, 故障診断, テスト容易化設計), 08 形式的検証, 09 機能・論理シミュレーション, 10 回路シミュレーションとモデリング, 11 設計環境(CADフレームワーク, 設計データベース管理), 12 テクノロジー・マイグレーション(論理変換, 設計結果再利用), 13 CAD用ハードウェア・エンジン, 99 その他()
008 並列処理	01 並列処理アーキテクチャ	01 超並列マシン, 02 マルチプロセッサ, 03 SIMDマシン, 04 MIMDマシン, 05 データフローマシン, 06 専用並列マシン, 07 ニューロコンピュータ, 08 WSクラスタ, 99 その他()
	02 並列処理ハードウェア	01 要素プロセッサ, 02 分散・共有メモリ, 03 プロセッサ間通信・同期, 04 相互結合網, 05 スーパーパスカラ, 06 VLIW, 07 性能評価, 99 その他()
	03 並列処理ソフトウェア	01 並列OS, 02 並列処理言語, 03 並列化コンパイラ, 04 並列デバッグ, 05 並列化支援ツール, 06 スケジューラ, 07 負荷分散, 08 マッピング, 09 性能評価, 99 その他()
	04 並列処理応用	99 その他()
009 ネットワーク	01 通信技術	01 データ交換方式, 02 通信方式, 03 画像通信, 04 トラヒック理論, 05 ネットワークアーキテクチャ, 06 プロトコル, 07 プロトコル検証, 08 ISDN, 09 マルチメディア通信, 99 その他()
	02 ネットワーク管理	01 名前管理, 02 経路管理, 03 障害管理, 99 その他()
	03 コンピュータネットワーク	01 WAN, 02 LAN, 03 電子会議, 04 電子掲示板, 05 電子メール, 06 分散処理, 99 その他()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
010 システム	01 システム技術	01 システムの計画・分析・設計・構築・運用・利用, 02 システムニーズ・情報ニーズの獲得, 03 情報・データの管理, 04 システムとのインタフェース, 99 その他()
	02 グループウェア	01 協調基礎, 02 グループワーク応用, 03 グループワークインフラストラクチャ, 04 分散オフィス, 05 マルチユーザインタフェース, 99 その他()
	03 インタフェース	01 インタフェースモデル, 02 ヒューマンインタフェース, 03 計算機システムインタフェース, 04 マルチメディアインタフェース, 05 協調作業のインタフェース, 06 文書処理インタフェース, 99 その他()
	04 対話型システム	01 構成理論, 02 方法論, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 管制システム, 09 訓練システム, 10 意志決定システム, 11 オフィスシステム, 99 その他()
	05 オンラインリアルタイムシステム	01 予約システム, 02 バンキングシステム, 99 その他()
	06 制御システム	01 プロセス制御, 02 数値制御, 03 通信制御, 04 産業用ロボット, 05 FA, 06 知能ロボット, 07 リアクティブシステム, 99 その他()
	07 システム評価	01 評価技法, 02 評価指標, 03 評価モデル, 99 その他()
011 信頼性と安全性	01 信頼性	01 信頼性理論, 02 保全性理論, 03 信頼性評価, 04 故障解析, 05 二重系, 06 待機系, 99 その他()
	02 機密保護	01 暗号理論, 02 認証, 03 鍵管理, 04 鍵配送, 05 セキュリティ, 99 その他()
012 教育	01 教育	01 専門技術者・研究者の育成教育法, 02 情報科学・工学の教育, 03 コンピュータリテラシ, 04 カリキュラム, 05 CAI, 06 知的CAI, 07 教育工学, 99 その他()
013 応用	01 企業等への応用	01 オフィス, 02 行政, 03 経営, 04 金融, 05 情報サービス, 06 生産管理, 07 計算機センタ運営, 99 その他()
	02 工学等への応用	01 航空・宇宙, 02 機械, 03 土木, 04 建築, 05 都市, 06 電気・電子, 07 計測, 08 生物, 09 物理, 10 化学, 11 原子力, 12 輸送・交通, 13 医学・歯学, 99 その他()
	03 音楽への応用	01 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 02 電子楽器, 03 音楽信号処理, 04 AIと音楽, 05 音楽の認知・知覚・感性情報, 06 音楽情報処理システム, 99 その他()
	04 人文科学への応用	01 人文科学・博物館・美術館への情報処理, 02 人文科学系ユーザ向きインタフェース, 03 情報処理と人文科学系間での学術的協力, 99 その他()
	05 障害者補助	
	06 その他への応用	
014 その他	01 社会	01 規格, 標準化, 02 知的所有権, 03 社会問題, 04 倫理, 99 その他()
	02 その他	

(2) キーワード表にとらわれず、寄稿内容を表わすキーワードを書いてください。

- (1) (2) (3)
(4) (5)

*1988年7月改訂
1994年3月改訂
1995年1月改訂

情報処理学会 原稿チェックリスト (太枠内著者記入)

受付番号		希望掲載欄		査読者				
和文 標題				原稿	枚			
英文 標題				図	枚			
				表	枚			
				アブストラクト	枚			
項目	検討内容 (適当であると認められれば○印. そうでないとき×印, 投稿は著者の欄に自分の判定結果を記入すること)			著者	査読結果			
					第1回 第2回 第3回			
標題 抄録 等	掲載欄は著者の指定通りでよいか							
	第3者(著者以外の人)が目を通しているか				(事務局)			
	和文標題は内容を適切に表しているか							
	英文標題はないようを適切に表現し, 英語としても適切か							
	アブストラクトは主旨を適切に表現し, 英文も適切か							
本文	在来研究との関連, 研究の動機, ねらい等が明確に説明されているか							
	既発表の論文等との間に重複はないか							
	章, 節のたて方, 全体の構成等は適切か							
	説明に冗長な点, 逆に簡単すぎる点はないか							
	説明に飛躍した点はないか仮定等の説明は十分か							
	記号・略号等は周知のものか用語は適切か							
	図・表の説明は適当か(本文中および各図のキャプション)							
	科学技術論文として不適当な表現や, 判りにくい表現はないか							
	結論が明確に記されており, 範囲, 限界, 問題点などの指摘が適切で, 内容にそったものであるか							
図表	図表自体は十分に明解であるか, 誤りはないか							
	十分に鮮明か				(事務局)			
	大きさ, 縮尺の指定は適切か				(事務局)			
文献	適切な文献が引用されており, その数も適切か							
総合 評価	創意の程度(最高を5とした5段階評価)							
	資料価値, 読者にとって有益な情報の量(最高を5とした5段階評価)							
	興味を持つ読者の多少(非常に多い場合5, ほとんどないとき1)							
	原稿の取り扱い(このまま掲載=3 照会后判定=2 不採録=1)							
査読 歴	回数	第1回		第2回		第3回		
	依頼	年月日	原稿 枚	年月日	原稿 枚	年月日	原稿 枚	
	期日	年月日	図 枚	年月日	図 枚	年月日	図 枚	
	返着	年月日	表 枚	年月日	表 枚	年月日	表 枚	
連絡 事項	第1回		第2回			第3回		

Keywords (Transactions of Information Processing Society of Japan)

Mark a single circle on keywords that relate to the contents of your paper, mark a double circle on a keyword that you think best describe the contents of your paper. Use others to fill in new keywords if it is difficult to make a reasonable choice from the table.

Category	Subcategory	Items(Enter Keywords in () when necessary.)
001 Fundamental Theory and Technology	01 Information Mathematics	01 Formal logic, 02 Automata, 03 Formal languages, 04 Theory of computation, 05 Complexity theory, 06 Graph theory, 07 Combinatorics, 08 Coding theory, 09 Information theory, 10 Petri net, 99 Others ()
	02 Nonlinear Dynamics	01 Chaos, 02 Fractal, 99 Others ()
	03 Algorithms	01 Discrete algorithms, 02 Data structures, 03 Parallel/distributed algorithms, 04 Probabilistic/randomized algorithms, 05 Approximation algorithms, 06 Computational geometry, 07 Search algorithms, 08 Computational algebra, 09 Learning theory, 10 Formula manipulation, 11 Floating-point operations, 99 Others()
	04 Operations Research	01 Linear/nonlinear programming, 02 Dynamic programming, 03 Integer programming, 04 Game theory, 05 Queuing theory, 06 Network theory, 99 Others()
	05 Probability/Statistics	01 Estimation and testing, 02 Probabilistic model, 03 Computation of statistics/probability, 04 Multivariate analysis, 05 Time series analysis, 99 Others()
	06 Numerical Computation	01 Error analysis, 02 Function evaluation, 03 Interpolation, 04 Linear algebra, 05 Nonlinear equations, 06 Eigenvalue problem, 07 Numerical differentiation, 08 Numerical integration, 09 Differential equations, 10 Partial differential equations, 11 Integral equations, 12 Extremal problem, 13 Special function, 14 Random numbers, 99 Others()
	07 Numerical Simulation	01 Finite element method, 02 Finite difference method, 03 Boundary element method, 04 Monte-carlo method, 05 Particle simulation, 06 Visualization, 99 Others()
	08 High Performance Computing	01 Parallelization, 02 Vectorization, 03 Performance evaluation, 99 Others()
002 Artificial Intelligence and Cognitive Science	01 Knowledge Processing	01 Search, 02 Automated theorem proving, 03 Inference methods, 04 Knowledge representation, 05 Knowledge acquisition, 06 Knowledge base, 07 Non-monotonic logic, 08 Fuzzy reasoning, 09 Computation with uncertainty, 10 Learning, 11 Understanding and cognitive theory, 12 Distributed and collaborative/cooperative artificial intelligence, 99 Others()
	02 Artificial Intelligence System	01 Expert system, 02 Expert system development tools, 03 Game program, 04 Intelligent robot, 05 Intelligent interface, 99 Others()
	03 Natural Language Processing	01 Machine translation, 02 Morphological analysis, 03 Syntactic analysis, 04 Semantic analysis, 05 Sentence generation, 06 Discourse understanding, 07 Grammar, 08 Dictionary, 09 Linguistic theory, 10 Speech act theory, 11 Linguistic data and statistics, 12 Language database, 14 Contextual analysis, 15 Knowledge representation, 99 Others()
	04 Biological Information Processing	01 Vision, 02 Auditory sense, 03 Neural model, 04 Cybernetics, 05 Self organization, 06 Artificial neural network, 07 Genetic algorithm, 08 Artificial life, 99 Others()
	05 <i>Kansei</i> Information Processing	01 Psychological model, 02 Behavior model, 03 Emotion model, 04 Human interface, 05 Video image, 06 Music, 99 Others()
003 Pattern Information Processing	01 Spoken Language Processing	01 Speech analysis, 02 Interface with spoken language, 03 Speech recognition / understanding, 04 Speech synthesis, text-to-speech, 05 Spoken dialogue / translation, 06 Analysis and generation of spoken language, 07 Speaker / language recognition, 08 Language model, spoken language corpus, 09 Application of spoken language, 99 Others()
	02 Image Signal Processing	01 Image quality control, 02 Bandwidth compression, 03 Encoding, 04 Remote sensing, 99 Others()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
003 Pattern Information Processing	03 Image/ Pattern Understanding	01 Scene analysis, 02 Object recognition, 03 Character recognition, 04 Pattern classification, 05 Drawing analysis, 06 Computer vision, 07 Robot vision, 08 Vision model, 09 Shape from X, 10 Range image processing, 11 Color image processing, 12 Image database, 13 Stereo vision, 14 Motion analysis, 99 Others()
	04 Computer Graphics	01 CG System, 02 CAD/CAM, 03 Modeling, 04 Rendering, 05 Visualization, 06 Animation, 07 Motion, 08 3D vision, 09 Virtual reality, 10 Designing, 11 Image database, 99 Others()
	05 Document Processing	01 Word processing, 02 Japanese language input/output, 03 Document processor, 04 Desk top publishing, 05 Font design, 06 SGML, 07 Pattern matching algorithm, 99 Others()
	06 Hardware System	01 Display device, 02 Hard copy device, 03 OCR, 04 Imaging system, 05 Image video Processor, 06 Speech analyzer/synthesizer, 99 Others()
	07 Multimedia Processing	01 Multimedia, 02 Hypermedia, 99 Others()
004 Software	01 Foundation	01 Programming theory, 02 Operating system theory, 03 Formal semantics, 04 Algorithm logic, 05 Verification theory, 06 Category theory, 07 Attribute grammar, 08 Computation paradigm, 09 Program synthesis / transformation, 99 Others()
	02 Programming Language and Specification Language	01 Procedural language, 02 Logic language, 03 Functional language, 04 Object oriented language, 05 Parallel processing language, 06 System description language, 07 Expression manipulation language, 08 Simulation language, 09 Specification language, 10 Fourth generation language(4GL), 99 Others()
	03 Language Processing System	01 Syntax analysis, 02 Code generation, 03 Optimization, 04 Compiler, 05 Interpreter, 99 Others()
	04 Tool	01 Editor, 02 Debugger, 03 Verifier, 04 Compiler generator, 99 Others()
	05 Window System	01 User interface management system, 99 Others()
	06 Operating System	01 Memory management, 02 I/O management, 03 Fault / failure management, 04 Communication management, 05 File management, 06 Job / task management, 07 Automatic operation management, 08 Parallel / distributed processing, 09 System management, 10 Exception handling, 11 Performance evaluation, 12 Realtime OS, 13 Multimedia OS, 14 Distributed / parallel OS, 99 Others()
	07 Programming Method	01 Data structure, 02 Garbage collection, 03 Hashing, 04 Sorting, 05 Searching, 06 Vectorization, 07 Parallelization, 08 Symbol processing, 09 Computational model, 10 Programming process, 11 Programming environment, 12 Programming paradigm, 13 Visual programming, 99 Others()
005 Database	01 Database	01 Data model, 02 Database language, DBPL, 03 Database design, 04 Integrity constraint, 05 Database management system, 06 Query processing, 07 Transaction management, 08 Database structure (organization, access method), 09 Reliability fault management, 10 Parallel database, massively parallel database, 11 OLTP, 12 Distributed database, multi-database, 13 Database operating system, 14 Performance evaluation, 15 Multimedia database, 16 Deductive database, 17 Object-oriented database, 18 Office database, 19 Engineering database, 20 Document database, 21 Image database, 22 Audio database, 23 Spatial data, 24 Data dictionary, repository, 25 Database application (system, development environment), 26 Database system technology (data analysis, design, construct and running), 27 Hypertext, 28 Hypermedia, 29 Database machine, 99 Others()
	02 Fundamentals of Informatics	01 Representation, identification, classification, retrieval, distribution and management of information, 02 Ontology, 03 Terminology, 04 Dictionary, 05 Thesaurus, 06 Knowledge organization of large amount of information, 07 Knowledge discovery, 08 Self-organization, 09 Full text DB, 10 Document retrieval system, 11 Information resource management, 12 Genetic information processing, 14 Library and information science, 99 Others()
006 Software Engineering	01 Development Methodology	01 Requirements elicitation / analysis, 02 Specification, 03 Design, 04 Programming method, 05 Prototyping, 06 Executable specification, 07 Reuse, 08 Domain analysis / modeling, 09 Program synthesis, 10 OOA/OOD, 11 Algebraic specification, 12 Reverse engineering, 13 Structured analysis / design, 14 Software architecture, 99 Others()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
006 Software Engineering	02 Test, Maintenance, Management	01 Test / debug, 02 Program verification, 03 Specification verification, 04 Rev inspection, 05 Performance evaluation, 06 Program analysis, 07 Maintenance management, 08 Metrics, 09 Version control, 10 Configuration management, 11 Project management, 12 Estimation, 13 Program complexity, 14 Risk management, 15 Cost management, 16 Software factory, 99 Others()
	03 Software Process	01 Process model, 02 Process programming, 03 Process management, 04 Process maturity model, 05 Process standardization, 99 Others()
	04 Development Environment	01 Architecture, 02 Distributed environment, 03 Documentation support, 04 Repository, 05 SEDB, 06 Groupware, 07 CASE, 08 Platform, 99 Others()
	05 Human Factor	01 Human interface, 02 Education / training, 03 Project management, 99 Others()
	06 Software Quality	01 Quality assurance, 02 Quality control, 03 Metrics, 04 Reliability estimation, 05 Quality parameter, 06 Reliability model, 99 Others()
007 Hardware	01 Fundamental Theory	01 Combinatorial circuit theory, 02 Sequential circuit theory, 03 Logic design theory, 04 Layout algorithm, 05 Hardware algorithm, 99 Others()
	02 Logic Circuits	01 Memory circuit, 02 Arithmetic circuit, 03 Controller, 04 Error detection/correction, 05 Testability circuit, 99 Others()
	03 Devices	01 Logic device, 02 Memory device, 03 Input/output device, 04 ASIC, 05 PLI, 99 Others()
	04 Computer Architecture	01 General purpose computer, 02 Special purpose computer, 03 High level lang machine, 04 Supercomputer, 05 Workstation, 06 Microprocessor, 07 Associati processor, 08 Non von Neumann architecture, 09 Fault tolerance, 10 Real time system, 11 DSP, 12 Optical computer, 13 Symbol processing machine, 14 Superscalar, 15 Instruction set architecture, 99 Others()
	05 Memory and Peripheral	01 Cache, 02 Memory hierarchy, 03 Virtual memory, 04 Functional memory, 05 Distributed/shared memory, 06 Vector register, 07 Disk, 08 CD-ROM, 09 Extensional storage, 99 Others()
	06 Design Methodology/Automation	01 Architecture design support, 02 Hardware/software co-design, 03 Hardware description language, 04 High level synthesis, 05 Logic synthesis, 06 Layout, 07 Design and testability (test pattern generation, fault diagnosis, design for testability), 08 Formal verification, 09 Functional and logic simulation, 10 Modeling and circuit simulation, 11 Design environment(CAD framework, design data management), 12 Technology migration (logic transformation, resynthesis), 13 Hardware engine, 99 Others()
008 Parallel Processing	01 Parallel Computers	01 Massively parallel computer, 02 Multiprocessor, 03 SIMD computer, 04 MIMD computer, 05 Dataflow computer, 06 Special purpose parallel computer, 07 Neuro-computer, 08 Workstation cluster, 99 Others()
	02 Hardware Architecture	01 Processing element, 02 Distributed/shared memory, 03 Interprocessor communication and synchronization, 04 Network, 05 Superscalar, 06 VLIW, 0 Performance evaluation, 99 Others()
	03 Software	01 Parallel operating system, 02 Parallel languages, 03 Parallelizing compiler, 04 Parallel debugger, 05 Parallel programming tools, 06 Scheduler, 07 Load balancing, 08 Mapping, 09 Performance evaluation, 99 Others()
	04 Applications	99 Others()
009 Network	01 Communication Technologies	01 Data switching, 02 Communication principles, 03 Visual communication, 04 Traffic theory, 05 Network architecture, 06 Protocol, 07 Protocol validation, 08 Integrated services digital network (ISDN), 09 Multimedia communication, 99 Others()
	02 Network Management	01 Naming, 02 Routing, 03 Failure management, 99 Others()
	03 Computer Network	01 Wide area network (WAN), 02 Local area network (LAN), 03 Teleconferen, 04 Bulletin board system, 05 Electronic mail, 06 Distributed processing, 99 Others()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
010 System	01 System Methodology	01 System planning, analysis, design, implementation, operation, usage, 02 System needs elicitation, 03 Information / data management, 04 System interface, 99 Others()
	02 Groupware	01 Concurrent engineering, 02 Group work application, 03 Group work infrastructure, 04 Distributed office, 05 Multi-user interface, 99 Others()
	03 Interface	01 Interface model, 02 Human interface, 03 Machine interface, 04 Multi-media interface, 05 Concurrent engineering interface, 06 Documentation interface, 99 Others()
	04 Interactive System	01 Architecture, 02 Principle, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 Monitoring system, 09 Training system, 10 Decision support system, 11 Office system, 99 Others()
	05 Online Realtime System	01 Reservation system, 02 Banking system, 99 Others()
	06 Control System	01 Process control, 02 Numerical control, 03 Communication control, 04 Industrial robot, 05 FA, 06 Intelligent robot, 07 Reactive system, 99 Others()
	07 System Evaluation	01 Evaluation method, 02 Metrics, 03 Evaluation model, 99 Others()
011 Reliability and	01 Reliability	01 Reliability theory, 02 Maintainability, 03 Reliability evaluation, 04 Fault analysis, 05 Dual system, 06 Duplex/stand-by system, 99 Others()
	02 Information Security	01 Cryptography, 02 Authentication, 03 Key management, 04 Key distribution, 05 Security, 99 Others()
012 Education	01 Education	01 Training of professional engineers and researchers, 02 Education of computer science and engineering, 03 Computer literacy, 04 Curriculum, 05 CAI, 06 ICAI, 07 Educational technology, 99 Others()
013 Applications	01 Applications to Enterprises	01 Office, 02 Public administration, 03 Business administration, 04 Finance, 05 Information services, 06 Production control, 07 Administration of computing facilities, 99 Others()
	02 Applications to Engineering and Science	01 Aviation and aerospace, 02 Mechanical engineering, 03 Civil engineering, 04 Architecture, 05 Urban engineering, 06 Electrical engineering and electronic, 07 Measurement, 08 Biology, 09 Physics, 10 Chemistry, 11 Atomic energy, 12 Transportation, 13 Medicine and dentistry, 99 Others()
	03 Applications to Music	01 Composition, arrangement, performance and accompaniment, 02 Electronic instruments, 03 Music signal processing, 04 Music and artificial intelligence, 05 Cognitive, perceptive and sensitive information of music, 06 Music information processing system, 99 Others()
	04 Applications to Humanities	01 Information processing of humanities, museum and art gallery, 02 User interface of humanity applications, 03 Cooperation between humanities and informatics, 99 Others()
	05 Application to the Disabled	
	06 Other Applications	
014 Others	01 Society	01 Standards and standardization, 02 Intellectual properties, 03 Social problems, 04 Ethics, 99 Others()
	02 Others	

When appropriate keywords that describe the contents of your paper are not found, or if there are any keywords more suitable, write them below.

- | | |
|----|-----|
| 1) | (4) |
| 2) | (5) |
| 3) | |

定期刊行物の省略記法

(ISO 4, ISO 833 による)

誌名	省略記法
ACLS Newsletter	ACLS Newsl.
ACM Transactions on Database Systems	ACM Trans.Database Syst.
ACM Transactions on Mathematical Software	ACM Trans.Math. Softw.
ACM Transactions on Programming Languages and Systems	ACM Trans.Prog.Lang.Syst.
Acta Informatica	Acta Inf.
AEDS Journal	AEDS J.
AEDS Monitor	AEDS Monit.
ALGOL Bulletin	ALGOL Bull.
American Journal of Computational Linguistics	Am.J.Comput.Linguist.
American Scientist	Am.Sci.
Annals	Ann.
The Annals of the American Academy of Political and Social Science	Annals AAPSS.
Applied Mathematics and Computation	Appl.Math.Comput.
Artificial Intelligence	Artif.Intell.
Association for Linguistic Computing-Bulletin	Assoc.Lit.Linguist.Comput.Bull.
The Australian Computer Journal	Aust.Comput.J.
Bell Systems Technical Journal	Bell Syst.Tech.J.
bit	bit
Communication of the ACM	Comm.ACM
Computer	Computer
Computer Aided Design	Comput.Aided Des.
Computer Bulletin	Comput.Bull.
Computer Design	Comput. Des.
Computer Educator	Comput.Educ.
Computer Graphics and Art	Comput.Gr.Art
Computer Vision Graphics and Image Processing	Comput.Gr.Image Process.
Computer Graphics Newsletter	Comput.Gr.Newsl.
Computer Journal	Comput.J.
Computer Languages	Computer Lang.
Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering	Comput.Methods in Appl.Mech.Eng.
Computers and Biomedical Research	Comput.Biomed.Res.
Computers & Graphics	Comput.Gr.
Computers and Humanities	Comput.Hum.
Computing	Computing
Computing Newsletter	Comput.Newsl.
Computing Surveys	Comput.Surv.
Datamation	Datamation
Education Technology	Educ.Tech.
Engineering and Instrumentation	Eng.Instrum.
IBM Journal of Research and Development	IBM J.Res.Dev.
IBM Systems Journal	IBM Syst.J.
IEEE Spectrum	IEEE Spectrum
IEEE Transactions on Computers	IEEE on Trans.Comput.
IEEE Transactions on Software Engineering	IEEE Trans.Softw.Eng.
Industrial Engineering	Ind. Eng.
Information and Control	Inf.Control
Information Processing and Management	Inf.Process.Manage.
Information Processing Letters	Inf.Process.Lett.
Information Science	Inf.Sci

誌名	略記法
The Information Scientist	The Inf.Sci.
Information Systems	Inf.Syst.
Instrumentation Technology	Instrum.Technol.
International Journal of Bio-Medical Computing	Int.J.Bio-Med.Comput.
International Journal of Computer and Information Sciences	Int.J.Comput.Inf.Sci.
International Journal of Computer and Mathematics	Int.J.Comput.Math.
International Journal of General Systems	Int.J.General Syst.
International Journal of Man-Machine Studies	Int.J.Man-Mach.Stud.
Journal of the ACM	J.ACM
Journal of the American Society for Information Sciences	J.Am.Soc.Inf.Sci.
Journal of the American Statistical Association	J.Am.Stat.Assoc.
Journal of Chemical Information & Computer Sciences	J.Chem.Inf.Comput.Sci.
Journal of Clinical Computing	J.Clin. Comput.
Journal of Computational Physics	J.Comput.Phys.
Journal of Computer and System Sciences	J.Comput.Syst.Sci.
Journal of Cybernetics and Information Sciences	J.Cybern.Inf.Sci.
Journal of the Franklin Institute	J.Franklin Inst.
Journal of Symbolic Logic	J.Symbolic Logic
Journal of Systems Management	J.Syst.Manage.
Law and Computer Technology	Law Comput.Technol.
Management Information Systems Quarterly	Manage.Inf.Syst.Q
Management Science	Manage.Sci.
Mathematical Programming	Math.Program.
Mini-Micro Systems	Mini-Micro Syst.
Nachrichtentechnische Zeitschrift	Nachrichtentech.Z.
Operations Research	Oper.Res.
Pattern Recognition	Pattern Recogn.
Popular Computing	Pop.Comput.
Proceedings of the IEEE	Proc.IEEE
Proceedings of the SID	Proc.SID
Science	Science
Scientific American	Sci.Am.
SIAM Journal on Applied Mathematics	SIAM J.Appl.Math.
SIAM Journal on Computing	SIAM J.Comput.
SIAM Journal on Control	SIAM J.Control
SIAM Journal on Mathematical Analysis	SIAM J.Math.Anal.
SIAM Journal on Numerical Analysis	SIAM J.Num.Anal
SIAM Review	SIAM Rev.
SID Journal	SID J.
Simulation	Simulation
Software-Practice & Experience	Softw.Pract.Exper.
Soviet Cybernetics Review	Sov.Cybern.Rev.
Theoretical Computer Science	Theor.Comput.Sci.

主) 一般的に会議論文集は次のように略記する。 Proc.* * th 会議名 開催年 (例) Proc. 8 th IJCAI 1990

付 録 2

情 報 処 理 学 会 関 連 の 英 文 表 記 お よ び 略 記

誌 名	省 略 記 法
情報処理学会	IPS Japan
(Information Processing Society of Japan)	
学会誌「情報処理」	J.IPS Japan
(Journal of Information Processing Society of Japan)	
論文誌	Trans.IPS.Japan
(Transactions of Information Processing Society of Japan)	
旧欧文誌	J.Inf.Process.
(Journal of Information Processing)	
旧英文誌	略記しない
(Information Processing in Japan)	
全国大会	
(The**th Annual Convention IPS Japan)	
全国大会論文集	Proc.**th Annual Convention IPS Japan
(Proceedings of the **th Annual Convention IPS Japan)	
功績賞	
(IPSJ Contribution Award)	
論文賞	
(IPSJ Best Paper Award)	
研究賞, 山下記念賞	
(IPSJ SIG Research Award)	
奨励賞	
(IPSJ Convention Award)	
情報処理学会30年のあゆみ—活動の軌跡と技術展望	
(IPSJ and Its 30years-Review of Its Activities and Technical Perspective)	